

令和6年度  
長浜市教育行政方針

長浜市教育委員会



# 目 次

1 所属別重点目標 .....	4
2 教育振興基本計画実施プラン	
指標一覧 .....	12
教育振興基本計画体系図 .....	14
基本目標1 乳幼児期における就学前教育を充実します .....	16
基本目標2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します .....	21
基本目標3 学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします・・	36
基本目標4 地域の伝統・文化を生かし、郷土を愛する心を育てます .....	43
基本目標5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります .....	45
基本目標6 安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します .....	55

## <教育行政方針とは>

長浜市の教育振興を図るために定める基本的な計画として策定した、「第3期長浜市教育振興基本計画」を確実に推進していくため、教育委員会が年度ごとに示す教育行政の重点施策であり、教育委員会会議の議決を経て決定されるものです。

# 1 所属別重点目標

---

令和6年度所属別重点目標

**教育総務課**

教育大綱:基本目標	6	安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します
施策の基本的方向	13	質の高い教育のための環境整備
具体的な施策	47	誰もが安心して学べる学校・園施設等の整備
■重点目標	長浜市学校施設等長寿命化計画に基づき、老朽度が高い学校施設等の長寿命化改修工事・工事設計を実施する。	
(現状と課題)		
市内の学校等の教育・保育施設の約4分の1は、建築後40年を経過しており、老朽化しているものが多い。このような状況において、子どもたちに安全・安心で、現在の生活様式や時代の求める環境に対応したより良い教育環境を、いかにして経費負担を押しさえつつ継続的・安定的に提供していけるかが課題である。		
(主な取組内容)		
学校等の施設は日常の適切な維持管理や適期の改修に加え、老朽度の高い施設については、適正規模や適正配置の動向を踏まえつつ、トータルコストの縮減や財政負担の平準化、構造体の改修による若返りと断熱化・省エネ化を合わせて実現するための長寿命化改修を行う。		

**教育改革推進室**

教育大綱:基本目標	2	子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	3	確かな学力の育成
具体的な施策		
■重点目標	すべての子どもたちが「真の学力」を身につけることを目指し、5つの手立てに沿った取組を推進する。	
(現状と課題)		
子どもを主語にした授業づくり(授業改善)や特別活動等の推進により、学び続けようとする意欲や豊かな創造性、様々な人と協働しながら問題発見・解決に挑む資質・能力を育む「新しい長浜の教育」を推進する必要がある。		
(主な取組内容)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上専門プロジェクトチーム会議を開催し、専門的な視点から幅広い助言、意見を聴取し、授業改善や教育データベースの活用など教育施策に反映させる。</li> <li>・「『真の学力』向上を目指すロードマップ～誰一人取り残さない長浜の教育の実現～Ver.2.0」に基づき、その具現化を図る。</li> </ul>		

教育大綱:基本目標	2	子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	3	確かな学力の育成
具体的な施策	15	教育の情報化の推進
■重点目標	ICT機器を効果的に活用し、全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する。	
(現状と課題)		
GIGAスクール構想による1人1台端末の整備と校務支援システム導入から4年目になり、ICT活用は定着してきたが、さらに1人1台端末の有効活用により児童生徒主体の授業への質的転換を進め、児童生徒の学習の個性化と教員による指導の個別化の実現を目指すとともに、協働的な学習が深まるように進める必要がある。		
(主な取組内容)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員のICT活用指導力の向上を図り、授業改善に資する。</li> <li>・統合型校務支援システムの円滑な運用を推進し、校務の効率化を図る。</li> </ul>		

## 教育改革推進室

教育大綱:基本目標	6	安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します
施策の基本的方向	13	質の高い教育のための環境整備
具体的な施策	51	学校適正配置の協議・取組の推進
■重点目標	子どもたちにとってよりよい教育環境づくり、魅力ある将来の学校づくりの視点から、学校の適正規模・適正配置及び小中一貫教育の推進を図る。	
(現状と課題)		
児童生徒数の減少に伴い学校の小規模化が進み、学校間で教育の質や水準に格差が生じる可能性がある。		
(主な取組内容)		
市全体の学校園適正規模・適正配置について中長期的な視野を持ち、検討する委員会を開催し、学識経験者や学校関係者等から幅広い意見を収集し、今後の基本的方針の作成に活かす。		

## 教育指導課

教育大綱:基本目標	2	子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	2	一人ひとりを大切にす教育の推進
具体的な施策	6	きめ細かな指導の充実と学習方法の工夫改善
■重点目標	基礎的・基本的な知識・技能の定着に向け、指導の充実を図る。 自己肯定感の感受を促進し、豊かな人間性と共感的人間関係の育成を図る。 中学校区を単位とした保幼小中義務教育学校間の連携・接続を推進する。	
(現状と課題)		
全国学力・学習状況調査等の結果から、小学校・義務教育学校(前期)では改善が見られたものの、いずれの校種においても基礎・基本の定着には課題が見られた。また、将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合についても全国平均より5～7%低い。		
(主な取組内容)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長浜スタイル「子どもが自ら学ぼうとする授業」の実践を徹底する。</li> <li>・「学びに向かう力」育成の取組を充実する。また、自己存在感の感受を促進する機会や場の充実を図る。</li> <li>・保幼小中の縦の連携を深めるとともに、系統的な取組を行うことで、「生きる力」の育成を図る。</li> </ul>		

教育大綱:基本目標	2	子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	2	一人ひとりを大切にす教育の推進
具体的な施策	7	いじめ防止対策の総合的な推進
■重点目標	子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、「長浜市いじめ防止等の基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期対応のための対策を総合的に推進する。	
(現状と課題)		
平成30年度以降、いじめの認知報告数は横ばい傾向であるが、コロナ禍以降、急速に普及したスマホやタブレットなどの情報端末によるいじめ事案の報告が増加している。未然防止の取組みと併せて、早期発見、早期対応の学校体制づくりが必要である。		
(主な取組内容)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「長浜市いじめ防止等の基本方針」や各校作成の「学校いじめ防止基本方針」に則り、いじめの未然防止と早期発見、早期対応のため、学校支援体制をより一層強化する。</li> <li>・SCやSSW、弁護士、精神科等、専門家に相談する機会を設け、学校や児童生徒支援にあたる。</li> <li>・いじめ重大事態発生時には、第三者機関であり、教育委員会の附属機関である「長浜市いじめ問題対策委員会」により調査や審議を行い、再発防止に向けて取り組む。</li> </ul>		

令和6年度所属別重点目標

**教育指導課**

教育大綱:基本目標	2	子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	2	一人ひとりを大切にする教育の推進
具体的な施策	8	特別支援教育の推進
■重点目標	特別な支援を必要とする子どもの教育的ニーズに応じた「個別の指導計画」および「個別の教育支援計画」の内容の充実と効果的な活用を行う。	
(現状と課題)		
特別な支援を必要とする児童生徒に対して、合理的配慮を講じつつ、「個別の指導計画」と「個別の教育支援計画」の充実を図るとともに、効果的な活用の在り方を模索する必要がある。		
(主な取組内容)		
・各種相談事業や学校間の引継ぎ、特別支援教育に係る会議等の資料として活用し、「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の見直しの機会を設けることで、指導・支援の充実を図る。		

教育大綱:基本目標	6	安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します
施策の基本的方向	13	質の高い教育のための環境整備
具体的な施策	50	教職員の働き方改革の推進
■重点目標	教職員が心身の健康を保ち、ゆとりをもって子どもと向きあうことができるよう、業務量の適切な管理と教育職員の健康及び福祉の確保を図るための措置を行う。	
(現状と課題)		
DXの推進により業務改善を図っているが、特に年度始めや学期末に書類の作成や成績処理等の業務が集中するため、多くの時間を要する。また、関係機関や保護者との連絡・調整に多くの時間を費やすため、煩雑な業務の精査を行う必要がある。併せて、教職員一人ひとりのタイムマネジメント力をつける必要がある。		
(主な取組内容)		
・「学校における働き方改革」ロードマップを作成し、計画に基づき、具体的な施策を行う。(授業時数の適正化、業務のデジタル化、積極的な人的配置、職員の意識改革を図る研修会の実施等)		

**すこやか教育推進課**

教育大綱:基本目標	2	子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	5	健やかな体の育成
具体的な施策	21	体力の向上と健康の保持増進
■重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化の中でも子どもたちが将来にわたり部活動(または文化・スポーツ活動)を継続して取り組むことができる環境づくりを推進する。</li> <li>・子どもの体力向上を図る取組を推進する。</li> </ul>	
(現状と課題)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員に代わる指導者、部活動に代わる受皿になり得る地域の団体の不足という状況で、休日の部活動を地域移行していくことは非常に課題が多い。本市においては、「地域移行」は可能なところから随時実施していくこととし、拠点校部活動や合同部活動、地域の外部指導員を積極的に配置するなどの「地域連携」を中心に部活動の在り方を検討していく。</li> <li>・「全国体力・運動能力、運動習慣調査」の結果、本市の児童の体力(新体力テストの結果)が全国平均と比較して劣っている。</li> </ul>		
(主な取組内容)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーターや指導員を配置して、各校への聞き取り調査等を行う。</li> <li>・本市の実情に応じた地域移行(地域連携)推進計画を策定する。</li> <li>・日々の学校生活の場面において、常に体を動かすことを意識した指導を行うことで基礎体力向上を目指す。</li> </ul>		

## 令和6年度所属別重点目標

### すこやか教育推進課

教育大綱:基本目標	2	子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	5	健やかな体の育成
具体的な施策	22	食育の推進
■重点目標	子どもたちが「食」に関する正しい知識を身につけ、自分自身の健全な食生活について考えることができる力を育む。	
(現状と課題)		
学校・園給食の食べ残し等によるフードロスやアレルギー対応の必要な子どもたちが増加傾向にある。物価高騰による賄材料費への影響に対応する必要がある。		
(主な取組内容)		
子どもたちが正しい「食」の知識を身につけることができるよう、学校・園給食を通じた食育の充実を図るとともに、安全・安心な学校・園給食を安定して提供できるよう、学校給食センターの適切な運用を図る。また、給食材料費の高騰が続いているが、引き続き給食の質や量の維持に努める。		

### 幼児課

教育大綱:基本目標	1	乳幼児期における就学前教育を充実します
施策の基本的方向	1	生きる力の基礎を培う就学前教育の充実
具体的な施策	5	就学前教育から小学校教育への円滑な接続の推進
■重点目標	接続期の発達や学びの理解を深め、円滑な接続のための連続性を踏まえた指導の充実を図る。	
(現状と課題)		
中学校区での園小中義務教育学校接続協議会、小学校区での園小接続研修会を開催したが、保育者と教員が園小接続期の「学び方」や育ちの「捉え方」を共通理解する必要がある。		
(主な取組内容)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・園小接続期の発達について相互理解を深めるため、園小中義務教育学校接続協議会、園小接続研修会を引き続き開催する。</li> <li>・園小接続カリキュラム検討会を開催し、小学校区で発達や学びの連続性を踏まえた園小接続カリキュラムを作成する。</li> </ul>		
教育大綱:基本目標	3	学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします
施策の基本的方向	7	子育て支援体制の充実
具体的な施策	27	保育サービスの充実
■重点目標	保育人材を確保することで待機児童の解消を図る。	
(現状と課題)		
低年齢児層の待機児童が発生しており、入所希望児童の低年齢化や長時間保育により、必要保育士数の増加が見込まれる。		
(主な取組内容)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育人材確保のため、3つの支援制度(奨学金返還支援、居住支援、再就職支援)を継続する。</li> <li>・保育士等採用試験受験者の増加を図るため、保育者養成校との連携強化に取り組む。</li> </ul>		



## 令和6年度所属別重点目標

### 幼児課

教育大綱:基本目標	6	安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します
施策の基本的方向	13	質の高い教育のための環境整備
具体的な施策	47	誰もが安心して学べる学校・園施設等の整備
■重点目標	DXの推進により、保護者の利便性向上と働きやすい職場環境の構築を図る。	
(現状と課題)		
保護者から幼児課、園への各種申請方法は書面による申請となっており、各種申請書類のデータ入力に相当の時間を要している。		
(主な取組内容)		
・保育所等入所調整業務について、データ入力や入所調整業務等の省力化のため、AIマッチングシステム導入と申請受付の電子化に取り組む。		

### 教育センター

教育大綱:基本目標	6	安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します
施策の基本的方向	13	質の高い教育のための環境整備
具体的な施策	49	教職員研修の充実
■重点目標	学校現場で主体的な研修を推進・支援していく。また、授業力、指導力、マネジメント能力等、今求められている「教師力」を向上させる研修の充実を目指す。	
(現状と課題)		
研修等に参加した教職員の人数は、増加傾向にある。多様な学びを提供すべく、集合研修やオンライン研修、オンデマンド研修、アウトリーチ研修、ハイブリッド研修などを実施してきた。今後は、より今日的なニーズに沿った研修を提供し、教職員の資質向上や学校組織の改善に取り組むことが求められる。		
(主な取組内容)		
・教職員の資質・指導力を高めるため、専門的視野を取り入れた多様な研修を提供する。 ・校内研究や研修に指導員を派遣する。		

教育大綱:基本目標	2	子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	2	一人ひとりを大切にする教育の推進
具体的な施策	9	多様な学びの場を求める子どもや保護者の支援
■重点目標	専門家や関係機関と連携し、不登校や発達に関する教育相談・コンサルテーションを丁寧に行う。こどもサポートルームなないろにおいては個に応じた指導・支援を充実させ、ICT活用等多様な学びの場を確保し、児童生徒の社会的自立をめざす。	
(現状と課題)		
不登校の児童生徒は年々増加しており、多様な学びの場を求める子どもや保護者の支援ニーズは高まっており、また、発達に課題のある児童生徒について、保護者からの相談や検査依頼も増加している。学校・家庭・関係機関と連携し、様々な方法を取り入れる中から該当児童生徒の自己理解を促し、社会的自立を図っていくことが課題である。		
(主な取組内容)		
・保護者や学校の相談依頼に対して、カウンセラーや心理判定員・相談員・専門家による教育相談や指導支援を行う。 ・不登校児童生徒に対する指導支援の場として、こどもサポートルームなないろを運営する。		

令和6年度所属別重点目標

**生涯学習課**

教育大綱:基本目標	5	市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります。
施策の基本的方向	10	人生100年時代を見据えた生涯学習の推進
具体的な施策	36	多様な学びの機会の提供
■重点目標	地域の人的・物的資源を活用し、学校や地域、多様な主体が連携・協働しながら、子どもの生きる力を育む。	
(現状と課題)		
地域と学校の連携をさらに進め、多様な主体が地域ぐるみで子どもの学びを応援する仕組みと体制の構築が必要である。		
(主な取組内容)		
生涯学習社会づくり基本方針(令和5年3月策定)に基づき、学校や地域の連携・協働による子どもの生きる力を地域で育む生涯学習を推進する。		

教育大綱:基本目標	5	市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	10	人生100年時代を見据えた生涯学習の推進
具体的な施策	39	図書館サービスの充実
■重点目標	市民の役に立ち、誰もが利用でき信頼を寄せる図書館をめざし、サービスの充実に取り組む。	
(現状と課題)		
市内のどこに住んでいても図書館サービスを受けることのできる体制づくりを進め、市民により身近に図書館を感じてもらえるサービスの充実を図る必要がある。		
(主な取組内容)		
長浜市図書館基本計画(第2期)に基づいて多様な取組をすすめ、様々な機会を通じて図書館サービスを周知し、より多くの市民に図書館を身近に感じてもらえるサービスの提供を図る。		

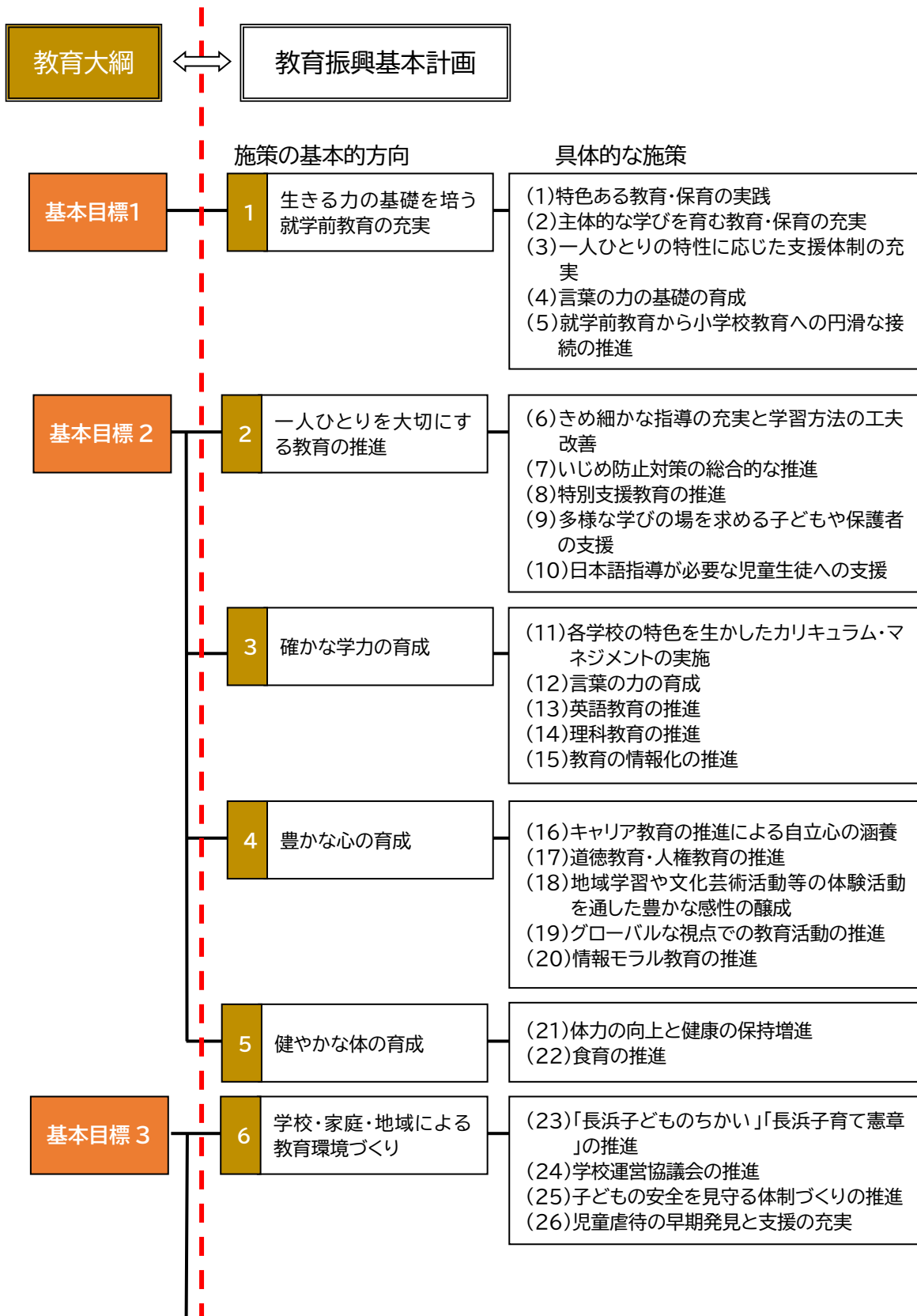
## 2 教育振興基本計画 実施プラン

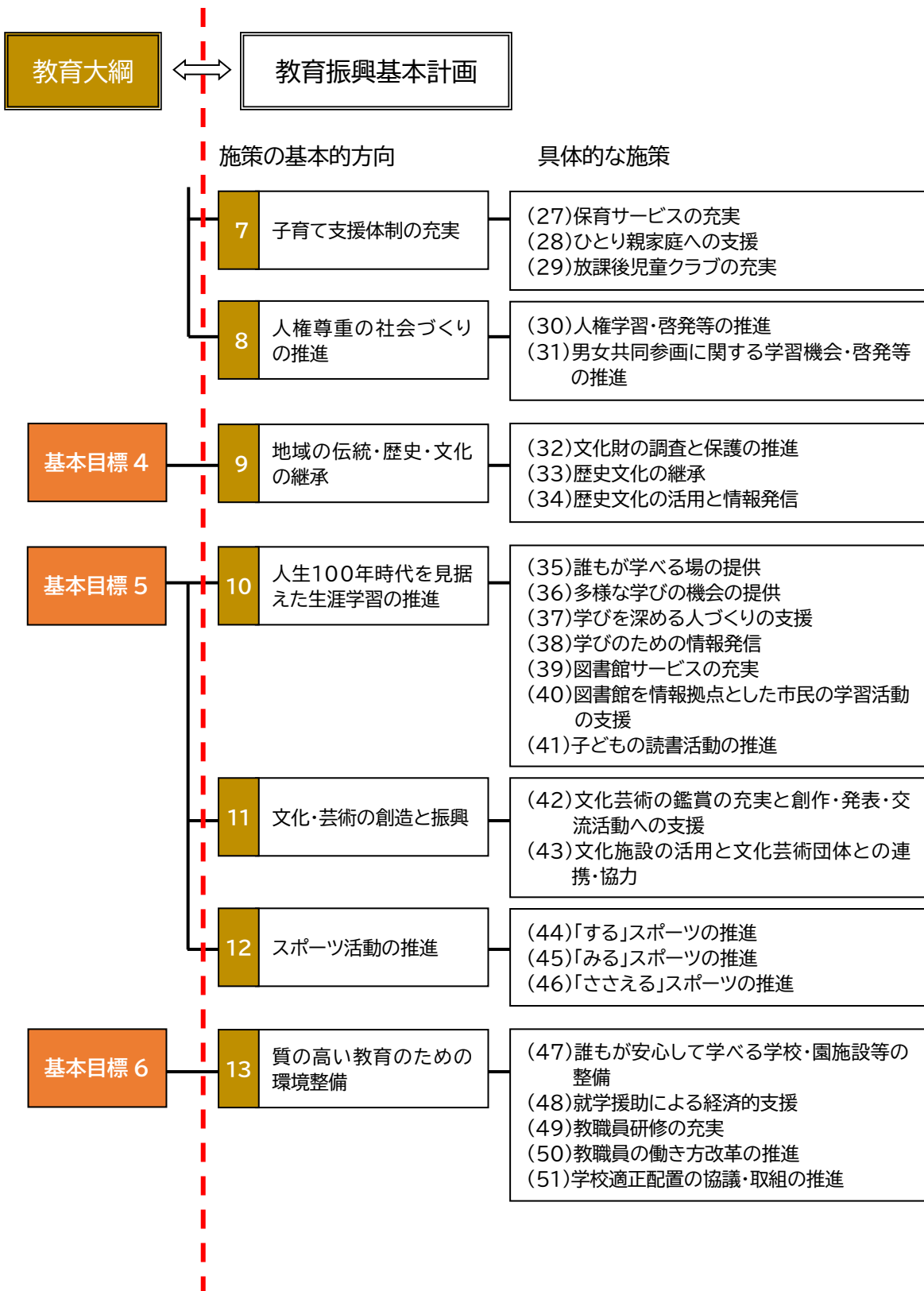
---

連番	No.	基本的方向	指標(進捗管理目標)	担当課	計画策定時	実績(R3)	実績(R4)	実績見込み(R5)	目標値(R6)	計画目標値(R7)
1	★1	1	園の教育課程及び指導計画に、特色ある保育内容を取り入れている割合	幼児課	50.0%	55.0%	55.0%	100.0%	100.0%	100.0%
2	★2		「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を実感した割合(保護者アンケート)	幼児課	—	69.9%	91.2%	89.4%	90.0%	70%
3	★3		特別支援教育士資格の取得者数	幼児課	1人	取得者1人 受講者2人	取得者1人 受講者4人	3人	4人	5人
4	★4		家庭において、乳幼児に週2日以上読み聞かせを実施している割合	幼児課	—	50.0%	61.0%	64.0%	75.0%	90%
5	★5		アプローチ・スタートカリキュラムをテーマにした園小連携及び研究会の実施校区の数	幼児課	1小学校区 (25小学校区中)	4小学校区 (25小学校区中)	4小学校区 (25小学校区中)	25小学校区 (25小学校区中)	25小学校区 (25小学校区中)	全小学校区
6	★7-1	2	いじめと認知され、対応することができた件数 ※「いじめを見逃さない」という考え方から、積極的に認知するための指標とします。	教育指導課	小学校192件 中学校 75件	小学校178件 中学校67件	小学校156件 中学校60件	小学校240件 中学校70件	小学校250件 中学校80件	前年比増 前年比増
7	★7-2		いじめの解消率	教育指導課	小学校78.0% 中学校84.0%	小学校86.0% 中学校89.6%	小学校72.4% 中学校65.0%	小学校79.0% 中学校75.0%	小学校80.0% 中学校80.0%	小中学校ともに 100.0%
8	★8-1		通常学級に在籍している児童生徒のうち、支援が必要と考えられる者で、「個別の指導計画」が学校で作成されている割合	教育指導課	93.0%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
9	★8-2		特別支援学級に在籍児童生徒及び通級による指導を受ける児童生徒の「個別の教育支援計画」を作成する割合	教育指導課	—	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
10	★8-3		特別支援学校教諭免許状の取得者数	教育指導課	69人	83人	92人	94人	100人	前年比増
11	★9	多様な学びの場を求める子どもが学校以外の場で学ぶことにより出席認定された数	教育指導課	13人	19人	31人	40人	45人	前年比増	
12	★11-1	3	全国学力学習状況調査・国語の正答率と本市正答率との比較(全国学力・学習状況調査)	教育指導課	小 -2.8% 中 -2.8%	小 -5.7% 中 -1.6%	小 -5.6% 中 -1.0%	小 -1.2% 中 -5.8%	小 -0.8% 中 -0.8%	前年度比+0.5%
13	★11-2		全国学力学習状況調査・算数(数学)の正答率と本市正答率との比較(全国学力・学習状況調査)	教育指導課	小 -1.6% 中 -0.8%	小 -3.2% 中 -0.2%	小 -4.2% 中 +0.6%	小 -2.5% 中 -4.0%	小 0.4% 中 1.2%	前年度比+0.5%
14	★13		CEFR(セファール)A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる中学3年生生徒の割合	教育指導課	38.5%	39.2%	45.9%	46.1%	48.0%	50.0%
15	★15	授業にICTを活用して「資料・意見等の提示」、「学習用ソフトウェアを活用した協働的な学習」ができることと答えた教員の割合(学校における教育の情報化の実態等に関する調査)	教育改革推進室	53.7%	73.1%	79.9%	79.9%	90.0%	100.0%	
16	★16	4	「職場体験で自分の良さや適性等を見たり、確認したりできた」と答えた割合(中学生チャレンジウィーク事後アンケート)	教育指導課	89.0%	事業実施なし	100.0%	93.1%	94.0%	95.0%
17	★17		「自分には、よいところがある」と答えた割合(全国学力・学習状況調査)	教育指導課	小 81.6% 中 76.2%	小 76.5% 中 77.9%	小 77.8% 中 75.9%	小 85.9% 中 73.6%	小 86.0% 中 78.0%	小 87.0% 中 82.0%
18	★18		「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた割合(全国学力・学習状況調査)	教育指導課	小 83.3% 中 67.5%	小 79.0% 中 57.7%	小 72.2% 中 56.8%	小 77.4% 中 48.7%	小 83.0% 中 55.0%	小 88.0% 中 72.0%
19	★19		「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい」と答えた割合(全国学力・学習状況調査)	教育指導課	小 66.9% 中 58.7%	調査項目なし 調査項目なし	調査項目なし 調査項目なし	小 70.5% 中 67.5%	調査項目なし 調査項目なし	小 72.0% 中 64.0%
20	★20		情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方や態度を身につけさせるための研修会や授業を行った学校の割合	教育指導課	—	小 100.0% 中 100.0%	小 100.0% 中 100.0%	小 100.0% 中 100.0%	小 100.0% 中 100.0%	小中学校ともに 100.0%
21	★21	5	新体力テストの体力合計得点	すこやか教育推進課	男子:50.99点 女子:52.81点	男子:50.71点 女子:52.03点	男子:50.28点 女子:51.59点	男子:50.00点 女子:50.72点	男子:52.50点 女子:52.86点	男女ともに 55.00点
	・小学5年生		男子:41.86点 女子:48.32点		男子:41.68点 女子:48.47点	男子:39.27点 女子:44.54点	男子:41.94点 女子:45.55点	男子:42.47点 女子:47.78点	男子:43.00点 女子:50.00点	
	・中学2年生									
22	★22-1	バランスのとれた食事をするのは大切だと思っている児童・生徒の割合(食育アンケート)	すこやか教育推進課	—	小5 98.2% 中2 99.2%	小5 98.4% 中2 98.5%	小5 98.0% 中2 99.7%	小5 99.0% 中2 99.7%	小中学校ともに 100.0%	
23	★22-2	朝食を毎日食べる児童・生徒の割合(食育アンケート)	すこやか教育推進課	小5 90.6% 中2 86.1%	小5 89.6% 中2 85.7%	小5 89.2% 中2 82.3%	小5 90.6% 中2 84.0%	小5 92.0% 中2 86.0%	小5 93.0% 中2 90.0%	
24	★23	「長浜子どものちかい」「長浜子育て憲章」の保護者・地域・各団体への周知、啓発回数	教育改革推進室	91回	117回	90回	95回	97回	100回	
25	★24	地域とともに進めるよりよい学校づくり満足度(長浜市民満足度調査)	教育指導課	3.39点	3.24点	3.12点	3.18点	3.40点	3.50点	
26	★25	6	スクールガードについて、次のいずれかを充足した小学校数	すこやか教育推進課	22校	21校	20校	19校	22校	25校
	・スクールガード登録率(登録者数/児童数) 25%以上 ・通学距離・危険箇所での必要人数率(登録者数/必要数) 100%以上		(25小学校中)		(25小学校中)	(25小学校中)	(25小学校中)	(25小学校中)		
27	★26	児童虐待に関する啓発回数	子ども家庭支援課	9回	9回	10回	14回	12回	15回	
28	★27	保育所・認定こども園(長時部)の待機児童数	幼児課	35人	13人	5人	5人	5人	0人	
29	28	7	ひとり親家庭の相談件数	子ども家庭支援課	2,122件	2,354件	2,321件	2,352件	2,400件	2,500件
30	29		放課後児童クラブの待機児童数	子ども家庭支援課	214人	0人	0人	0人	0人	0人
31	30	8	自治会での人権学習会の評価(5段階評価)	人権施策推進課	4.6	2.7	3.7	4.1	4.6	4.8
32	31		固定的な性別役割分担意識にとらわれない人の割合(男女共同参画に関する市民意識調査)	人権施策推進課	58.9%	62.0%	調査なし	調査なし	70.0%	70.0%

連番	No.	基本的方向	指標(進捗管理目標)	担当課	計画策定時	実績(R3)	実績(R4)	実績見込み(R5)	目標値(R6)	計画目標値(R7)
33	32	9	指定文化財の件数	生涯学習課(文化財保護室)	453件	470件	470件	476件	476件	459件
34	33		地域にある文化財を保護・活用する保存活用団体等の数	文化観光課(歴史まちづくり室)	1件	1件	1件	1件	3件	3件
35	34		長浜城歴史博物館の入館者数	文化観光課(歴史まちづくり室)	99,481人	17,390人	90,118人	92,000人	100,000人	130,000人
36	★35-1	10	地域に根ざした生涯学習事業(学びと生涯学習のまちづくり推進事業)の計画講座数	生涯学習課	429講座	271講座	353講座	350講座	400講座	460講座
37	★35-2		子ども学び座の計画講座数	生涯学習課	上段に統合	上段に統合	上段に統合	上段に統合	上段に統合	上段に統合
38	★36		生涯学習講座(学びなおし講座)の計画講座数	生涯学習課	9講座	10講座	9講座	3講座	5講座	12講座
39	★37		リーダー育成事業 目標人数に対する参加率	生涯学習課	80.0%	80.0%	81.0%	80.0%	85.0%	90.0%
40	★39		レファレンス事例のホームページ公開件数	生涯学習課(図書館)	—	8件	15件	14件	15件	15件
41	★40		図書館における貸出冊数	生涯学習課(図書館)	873,970冊	870,578冊	847,524冊	837,000冊	900,000冊	1,300,000冊
42	★41		1か月間の読書冊数が1冊以下の割合							
			・小学4年から6年生	生涯学習課(図書館)	8.8%	12.7%	12.1%	11.4%	7.8%	7.5%
			・中学生		33.9%	32.6%	39.2%	41.0%	30.0%	15.0%
43	42-1		11	長浜市文化芸術コース会議実施イベントの参加者数	文化スポーツ課	812人	732人	1,388人	3,320人	900人
44	42-2	自校主催の吹奏楽演奏会を開催している中学校の数		文化スポーツ課	4校	1校	3校	4校	4校	5校
45	43-1	長浜市舞台芸術交流祭の参加団体数		文化スポーツ課	8団体	中止	14団体	8団体	8団体	9団体
46	43-2	長浜市芸術文化祭の参加事業数		文化スポーツ課	54事業	事業終了	事業終了	事業廃止	事業廃止	60事業
47	43-3	長浜市民芸術文化創造協議会会員数		文化スポーツ課	8団体	12団体	9団体	9団体	9団体	9団体
48	44-1	12	スポーツ施設利用者数(学校開放事業除く)	文化スポーツ課	530,239人	345,426人	571,798人	576,000人	560,000人	560,000人
49	44-2		全国規模大会開催数	文化スポーツ課	4件	4件	4件	3件	7件	15件
50	★47	13	小学校・中学校・義務教育学校のエレベーター設置割合	教育総務課	小:52.2%	小:52.2%	小:52.2%	小:52.2%	小:52.2%	小:52.2%
					中:70.0%	中:70.0%	中:70.0%	中:70.0%	中:70.0%	中:70.0%
					義:100.0%	義:100.0%	義:100.0%	義:100.0%	義:100.0%	義:100.0%
					合計:60.0%	合計:60.0%	合計:60.0%	合計:60.0%	合計:60.0%	合計:60.0%
51	★49		自主啓発研修・研究発表会等に、主体的に参加した教職員の人数	教育センター	延べ773人	延べ833人	延べ1,133人	延べ1,683人	延べ1,739人	延べ966人
52	★51-1		本市において適正に配置されていると考える学校の割合	教育改革推進室	82.90%	82.9%	82.9%	82.9%	82.9%	85.00%
53	★51-2		小中一貫教育により「学習指導」、「生徒指導」、「教職員の意識改革」に効果が認められたと回答した教職員の割合	教育改革推進室	—	76.0%	86.7%	87.1%	88.0%	前年度比+0.5%

# 教育振興基本計画体系図





教育大綱:基本目標	1 乳幼児期における就学前教育を充実します
施策の基本的方向	1 生きる力の基礎を培う就学前教育の充実

■具体的な施策

(1) 特色ある教育・保育の実践		【幼児課】			
教育要領等の改訂に伴い、長浜市就学前教育カリキュラムの見直しを図り、各園の子どもの実態や課題を考慮した直接的、具体的な体験を通して学ぶ質の高い教育・保育の一層の充実に努めます。特に園区の地域自然や文化とのふれあい、さらに施設や人材の活用を図る等、地域性を生かした総合的で特色のある教育・保育活動を実践します。					
現状と課題	各園で地域性を生かした特色ある保育を意識して取り入れている。 カリキュラムの改訂内容を周知し、より質の高い保育実践につなげていく必要がある。				
重点的に取り組む視点	各園の子どもの実態や課題を考慮して、地域自然や様々な地域の方との豊かな体験や、地域の文化や伝統に親しみを感じる機会を取り入れる。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
園の教育課程及び指導計画に、特色ある保育内容を取り入れている割合		50.0%	100.0%	100.0%	100.0%
指標の基礎となる 数値	市内公立園のうち、特色ある保育内容を教育課程及び指導計画に取り入れている園の割合	10園/20園	20園/20園	20園/20園	20園/20園
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	特色ある教育・保育の実践	身近な自然での体験活動の充実や地域の資源・人材の活用を図る等、地域性をいかした特色ある教育・保育を進める中で、魅力ある園づくりを進める。	各園の教育課程に、地域性を生かした取組内容を発達に合わせて加える等、特色ある取組を取り入れた指導計画を実践する。	894	幼児課
成果(取組)目標		全園で地域性を生かした特色ある保育を実践し、豊かな体験ができる機会をつくる。			
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	長浜市就学前教育カリキュラムの改訂事業	幼稚園教育要領、保育所保育指針等の改訂に伴い、長浜市就学前教育カリキュラムの見直しを行い、より質の高い就学前教育の推進を図る。	長浜市就学前教育カリキュラム改訂委員会で検討した内容等、教育要領・保育指針等の変更点を基に改訂版を作成し、研修会を通じてそのポイントを周知する。	932	幼児課
成果(取組)目標		長浜市就学前教育カリキュラム改訂版を作成し、研修会でその改訂内容を周知する。			



教育大綱:基本目標	1 乳幼児期における就学前教育を充実します
施策の基本的方向	1 生きる力の基礎を培う就学前教育の充実

■具体的な施策

(2) 主体的な学びを育む教育・保育の充実		【幼児課】			
<p>子どもが身近な自然や物的・人的環境等に主体的に関わる中で、興味関心を広げ夢中になって遊びを創造する楽しさを味わうことのできる教育・保育の充実に努めます。また地域の自然を生かした体験活動や集団遊び等の多様な活動を通して、人と関わるコミュニケーション能力や基礎的な体力・運動機能の向上を図ります。</p>					
現状と課題	<p>地域の自然や園庭環境をいかした保育の中で、様々な体の動きや活動量を増やす遊びを取り入れている。家庭や地域において歩いたり、子ども同士で遊んだりする機会が減っているため、園内での取り組みを充実させていく必要がある。</p>				
重点的に取り組む視点	<p>子どもが主体的に楽しみながら多様な動きを経験できる機会をつくり、コミュニケーション能力や基礎的な体力・運動機能の向上を図る。</p>				
指標(進捗管理目標)	計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値	
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を実感した割合(保護者アンケート)	—	89.4%	90.0%	70.0%	
指標の基礎となる数値	「就学前教育における子どもの育ちに関する調査」(5歳児の保護者対象)における15項目で、子どもの育ちの姿を実感した割合の平均値	—	—	—	
事業名または取組名	目的	概要		予算(千円)	担当課
継続 主体的な学びを育む教育・保育の充実	多様な経験や集団あそび等、子どもたちが夢中になって取り組む遊びを創造することで、意欲や自信さらにはコミュニケーション力を培う。	遊びを通して多様な身体の動きを経験するとともに、意欲や自信、人とかかわる力が育つような環境や遊びの充実を図る。子どもが主体的に遊びこめる園庭環境や保育内容の見直しをテーマにした研究を進める。		184	幼児課
成果(取組)目標	園庭環境を見直し、子どもたちが主体的に遊べる環境づくりを工夫する。				
事業名または取組名	目的	概要		予算(千円)	担当課
継続 運動あそびの推進	遊びの中で体を動かす機会をつくり、その時期に身に付けることのできる基礎的な運動能力や体力を培う。	運動あそびについての基礎的な知識を学び、園での運動あそび推進および親子で体を動かす遊びを提供し、就学前における運動あそびの大切さを広く伝える。		217	幼児課
成果(取組)目標	親子遊び等、就学前において運動あそびが大切であることを伝える機会をつくる。				

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	具体的な取組等
<p>乳幼児教育というのは、とても見えにくい教育であり、子どもたちが園生活を送る中で、どういった部分が育っているのかがなかなか分かりづらい中で、91.2%という数値が出てきたのは素晴らしいことだと思う。また、幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」というものがあるが、「5歳までに達成しなければならない姿」であるという誤解を招く恐れがあり、保護者が辛い思いをする事にもなりかねないため、あくまで方向性を示すものであり、到達目標だと誤解をされないように、保護者に対して正しい理解を促して欲しい。</p>	<p>令和3年度末より「就学前教育における子どもの育ちに関する調査」(5歳児の保護者対象)を行っています。「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」をより具体的に表した子どもの姿(15項目)で、お子さんの成長の姿として当てはまるかをお聞きし、15項目の平均値を指標としています。ご指摘のような誤解が生じないように保護者への周知をしていきたいと思ひます。</p>
<p>親子ふれあい遊びで、自分自身も楽しく体験させていただき、子どもたちがこんなに動く事ができるのかととても感心した。小学校低学年くらいまで、この事業を実施していただければ、幼小連携もさらに進むのではないかと思う。小学生になると親子の触れ合いも減ってしまうため、プログラムのここの事考えていただければと感じた。</p>	<p>就学前で楽しんできた運動遊びを小学校へつなげていくことは課題と感じています。幼小連携の一つとして、小学校の先生方に興味を持っていただくような機会を増やしていきたいと思ひます。</p>
<p>主催者側で、何度か運動あそびに参加させていただいた事があるが、若手の職員の方々が一所懸命参加されており、発達に関する良い研修だと思ひるので是非続けていっていただきたい。</p>	<p>若い職員も負担なく取り組めるよう、短時間の体を動かす機会を一日の保育に取り入れていくことを伝えております。研修会についても継続的に実施していきます。</p>

教育大綱:基本目標	1 乳幼児期における就学前教育を充実します
施策の基本的方向	1 生きる力の基礎を培う就学前教育の充実

■具体的な施策

(3) 一人ひとりの特性に応じた支援体制の充実				【幼児課】	
関係機関や小学校との連携を図る中で、各園における支援体制の強化を図ります。また、支援児や外国籍児に対して、一人ひとりの発達や特性に応じた支援について職員のスキル向上をめざし研修体制の充実に努めます。					
現状と課題		関係機関や小学校と連携し、必要な関わりや支援をつなげている。特別支援についての学びを深めることができるような研修や体制づくりが必要である。			
重点的に取り組む視点		支援児や外国籍児等だけでなく、多様性を意識したインクルーシブな保育を推進していく。			
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
特別支援教育士資格の取得者数		1人	3人	4人	5人
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	特別支援教育体制の充実	一人ひとりの特性に応じ適切な支援内容及び体制を整えることで、就学前特別支援教育の充実を図る。	特別支援教育推進員を中心に、園内支援の充実や地域ごとの支援担当職員研修を行い、学びを深めていく。支援児や外国籍児に対する適切な支援につながるよう、園内環境整備や研修を実施する。	1,118	幼児課
成果(取組)目標		インクルーシブ保育を目指し、どの子ども育ちあえるより良い保育のあり方を考える機会をつくる。			
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	特別支援教育推進における人材育成	職員の特別支援にかかわる専門的な知識や技能、指導力の向上を図る。	特別支援教育士の資格取得を計画的に進め、園内での特別支援教育を推進する。	533	幼児課
成果(取組)目標		特別支援教育について園内での支援を充実させるため、専門的に学べるような体制を整える。			

教育大綱:基本目標	1 乳幼児期における就学前教育を充実します
施策の基本的方向	1 生きる力の基礎を培う就学前教育の充実

■具体的な施策

(4) 言葉の力の基礎の育成		【幼児課】			
<p>親子による絵本等の読み聞かせの推進により、乳幼児期の成長に必要な不可欠な親子でのコミュニケーションを生み出すとともに、絵本を通じたふれあいの中で、想像力や言葉の表現・意味の理解、聞く力等、子どもたちに言葉の力の基礎を育みます。</p>					
現状と課題	絵本等の読み聞かせはボランティアなど外部の方を含め、毎日行っている。親子で絵本に親しむ機会をつくり、保護者に絵本の大切さを広めていく必要がある。				
重点的に取り組む視点	絵本等の大切さを保護者にも伝え、絵本等を通して豊かな言葉にふれる機会を増やしていく。				
指 標(進捗管理目標)	計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値	
家庭において、乳幼児に週2日以上読み聞かせを実施している割合	—	64.0%	75.0%	90.0%	
事業名または取組名	目的	概要		予算(千円)	担当課
継続 豊かなことばを育む指導の充実	絵本やお話、ことば遊びなどを通して、豊かなことばを育み、話す力、聞く力、伝え合う力等を育成し、就学前教育の指導力向上を図る。	就学前教育研修会において、豊かなことばの研究成果について共有し、遊びや体験を通して豊かなことばを育むことの大切さを周知する。		92	幼児課
成果(取組)目標	就学前教育研修会への参加を増やし、各園でごっこ遊びや感動体験等の豊かなことばが育まれるような保育内容を工夫する。				
事業名または取組名	目的	概要		予算(千円)	担当課
継続 親子での絵本等の読み聞かせの推進	親子による絵本等の読み聞かせを通して、親子でのコミュニケーションや乳幼児期に必要な愛着関係を築く。	親子による絵本の読み聞かせを推進し、家庭での読み聞かせについて意識の向上を図る。各園における絵本等の読み聞かせを充実するとともに、家庭への絵本貸し出しを充実する。		929	幼児課
成果(取組)目標	保育参観等で、親子で絵本にふれたり、保護者に関心を持っていただける機会をつくる。				

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	具体的な取組等
小学校でも、週に1度本を借りてくると思うので、親子の読み聞かせの経験を小学校でもうまく繋いでいければ良いのではないかと。	今後の園小連携の中で、親子の読み聞かせのつなぎについても協議していきたいと思います。
園の絵本を読むという環境が、なかなか整いつらいのかと感じる。子どもが通っている園でも、結構古い絵本があったり、なかなか冊数が増えなかったりすることもあるが、絵本の環境も整えていただきながら、絵本を読む機会を増やして欲しい。	毎年各園には絵本購入費用として図書費を配当していますが、十分ではないと認識しています。今後も図書費を増やしていけるように努めていくとともに、図書館の団体貸出も活用していきます。また、園内で絵本に親しみやすい環境になるよう、ボランティアの方々のご協力もいただきながら、絵本の部屋の環境を整備していきたいと思っています。
園で絵本を借りてきて、親子で読んで、感想を書くのが負担になるという保護者もおられると思うので、ご家庭に応じて楽しく読書ができるような環境を整えたいと思う。	親子の関わりを深める意味でも絵本は有効な手段だと考えます。負担のないよう保護者の思いにも寄り添いながら、親子で絵本に親しめる機会を提供したいと思っています。

教育大綱:基本目標	1 乳幼児期における就学前教育を充実します
施策の基本的方向	1 生きる力の基礎を培う就学前教育の充実

■具体的な施策

(5) 就学前教育から小学校教育への円滑な接続の推進		【幼児課】		
<p>就学前教育と小学校教育以上の学校教育を貫く「資質・能力の3つの柱」を基本に、園と小学校の連携のもとにアプローチカリキュラム・スタートカリキュラムの見直しを図り、園から小学校への円滑な接続ができるように、発達や学びの連続性を踏まえた指導の充実を図ります。また、園と家庭、地域が連携・協働体制を構築し、子どもの学びを豊かなものにしていきます。</p>				
現状と課題	令和5年度より、園小中接続協議会・園小接続研修会を実施し、中学校区ごとに子どもの姿の共有や連携を進めている。接続カリキュラムを作成して、継続的に園小中がつながっていく必要がある。			
重点的に取り組む視点	中学校区ごとの子どもの姿を共有し、小学校区で園小接続カリキュラムを作成する。			
指 標(進捗管理目標)	計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
アプローチ・スタートカリキュラムをテーマにした園小連携及び研究会の実施校区の数	1小学校区 (25小学校区中)	25小学校区 (25小学校区中)	25小学校区 (25小学校区中)	全小学校区
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 園小接続カリキュラムの推進事業	教育要領等に示される「資質・能力の3つの力」の育成に向け、就学前の学びを小学校へ円滑に接続する。	教育指導課・教育センターと連携し、園・小・中・義務教育学校の連続した学びについての研究を推進する。園と小学校が意見を出し合い、各地域ごとに園小接続カリキュラムを作成する。	20	幼児課
成果(取組)目標	園と小学校が地域の子どもの姿を共有し、地域の状況に応じた園小接続カリキュラムを作成する。			
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 園小中連携推進事業	各校区における子どもの課題やめざす姿を明らかにし、園・小・中・義務教育学校が連携し、発達や学びの連続性を踏まえた指導をする。	地区の園小中連携をすすめ、保育・授業参観、研究会等を通して相互理解を深める。	0	幼児課
成果(取組)目標	各地域で保育・授業参観、研究会等での交流を行い、連携を深める。			

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	具体的な取組等
子どもたちが安心して小学校生活がスタートできるように、園小連携を推進されていると思うが、もう少し実施校区があれば良いと思う。また、行事の交流だけではなく、資質能力の部分を繋いでいくカリキュラム作成の方向にシフトしていく事ができれば良いのではないかと。	令和5年度より、公私立全園と小中学校の管理職が集まり、中学校区の子どもの姿を共有した「園小中接続協議会」や、園小担当者が学びをつなぐことの見直しや意見交換などを行った「園小接続研修会」を実施しています。まずはお互いを知り合うことを大切にして、園小接続カリキュラムでつないでいけるよう進めていきたいと考えています。

教育大綱:基本目標	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	2 一人ひとりを大切にする教育の推進

■具体的な施策

(6) きめ細かな指導の充実と学習方法の工夫改善		【教育指導課】		
言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力の育成や「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けた授業改善に取り組めます。ICT機器の活用を効果的に進め、創造的な問題発見・解決学習を充実させるとともに、個々に応じた学びの最適化により基礎学力や学習意欲の向上を図ります。				
現状と課題	全国学力・学習状況調査の正答率は、全国平均を下回っている。地域の歴史や伝統、文化、産業、自然を通して、ふるさとの発展に志向する子どもを育てるとともに、ICT機器を最大限に活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、誰一人取り残さない長浜の教育の実現を図っていく必要がある。			
重点的に取り組む視点	各校の特色ある教育活動を推進し、学校の課題解決や活性化を図る。 教科指導の充実を図るとともに、ICT機器の効果的な活用を促進し、児童生徒の学力の向上を図る。 学校訪問や学力向上推進リーダー会議を通して、授業改善及び長浜スタイル「子どもが自ら学ぼうとする授業」の実践を徹底する。			
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 心輝く学校づくり推進事業	各校の教育課題に応じて、特色ある教育活動を推進する。	・外部講師から指導を受ける機会を設け、教員の授業力の向上を図るなど、児童生徒の学力向上に向けた取組を行う。 ・外部指導者による指導を受けながら、体験活動の充実を図る。 ・県事業・学校運営協議会の充実を図る。	23,523	教育指導課
成果(取組)目標	全ての授業において長浜スタイル「子どもが自ら学ぼうとする授業」を実施する。 全国学力・学習状況調査の「子どもが自ら学ぼうとする授業に資する質問事項」にかかる割合 肯定的回答90%以上			
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
拡充 学校ICT活用推進事業	1人1台端末等のICT機器の活用促進、教職員のICT活用指導力の向上、ICTを効果的に活用した授業づくりを支援し、すべての子ども達の可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する。	学校ICT支援員、ICT活用推進員を配置し、ICT機器活用に関するサポートや各校のニーズに応じて研修等を行う。	10,320	教育改革推進室
成果(取組)目標	学校ICT支援員・ICT活用推進員のサポート・研修で各学校に訪問した回数合わせて400回以上を目指す。			

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	具体的な取組等
児童生徒1人1台端末について、端末操作が苦手な子どももいると思う。その子どもたちへのフォローが心配であったが、個別に支援できる体制を準備されていると聞いて安心した。引き続き、こういった子どもたちへのフォローをお願いしたい。	引き続き、ICT支援員を配置しサポートに努めます。
クラウド型授業支援アプリやAI型教材等を、実際に授業参観で子どもたちがスムーズに使っているのを見て、とても良い事だと思った。ただし、AI型教材の宿題となるとこれまでと違い、子どもたちがしっかりと取り組んでいるかの確認が困難なように思う。学校によっては実施されているところもあると思うが、保護者がこういったAI型教材等に触れる機会があれば宿題の確認等もしやすいのではないかなと思う。	AI型教材は、リアルタイムで学習状況を把握できたり、取組状況を一覧で確認するなどの機能を備えており、教員が目的に応じて児童生徒の習熟度を確認することができます。 保護者への啓発研修も依頼のあった学校では行い、理解が深まった様子であった。学習参観にタブレットの体験会をする学校もあり、今後もこのような活動を進めて参ります。
先生方の間でも授業へのICTの活用に差があるとも聞いている。子どもたちも敏感に感じとっているようなので、引き続きICT活用に向けた先生方への支援をお願いしたい。	実践的なICT研修やオンデマンド研修(動画等)、また活用ハンドブックによる支援などを引き続き行い、より効果的な活用ができるように教員のICT活用指導力についても向上を図ります。

教育大綱・基本目標	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	2 一人ひとりを大切にする教育の推進

■具体的な施策

(7) いじめ防止対策の総合的な推進		【教育指導課】
<p>いじめは、どの子どもにも、どの学校でも起こりうることを踏まえ、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、「長浜市いじめ防止等の基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期対応のための対策を総合的に推進します。また、自分らしさを発揮し、互いに認めあい、支えあい、いじめを生まない・許さない社会の実現に向けて主体的に取り組もうとする子どもを育成します。</p>		
現状と課題	平成30年度以降、いじめの認知報告数は横ばい傾向であるが、コロナ禍以降、急速に普及したスマホやタブレットなどの情報端末によるいじめ事案の報告が増加している。未然防止はもちろんのこと、早期発見、早期対応の学校体制づくりが必要である。	
重点的に取り組む視点	いじめの未然防止と早期発見、早期対応のため、学校支援体制をより一層強化する。学校や児童生徒支援にあたるため、SCやSSWの配置、弁護士や精神科等専門家に相談する場を設ける。いじめ重大事態発生時には、再発防止を図るため、第三者機関であり、教育委員会の附属機関である「長浜市いじめ問題対策委員会」により調査や審議を行う。	

指 標(進捗管理目標)	計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
いじめと認知され、対応することができた件数 ※「いじめを見逃さない」という考えから、積極的に認知するための指標とします。	小学校192件 中学校 75件	小学校240件 中学校 70件	小学校250件 中学校 80件	前年比増 前年比増
いじめの解消率	小学校78.0% 中学校84.0%	小学校79.0% 中学校75.0%	小学校80.0% 中学校80.0%	小中学校ともに 100.0%

事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 学校支援チーム活用事業	様々な社会情勢や家庭環境を背景に、児童生徒・教職員に関わる重篤な問題事案に対して、弁護士や精神科医から専門的指導・アドバイスを受け、学校の初期対応・事後対応を円滑に進める。	困難な事案の発生時に、弁護士や精神科医が入ったケース会議や相談会を開催する。	736	教育指導課
成果(取組)目標	弁護士や精神科医の専門的指導や助言によって、学校が該当児童生徒や保護者、事案に対して自信をもって迅速に対応できるようにする。			

事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 スクールソーシャルワーカー活用事業	課題を抱える児童生徒の背景を福祉的な側面からアセスメントし、個に応じた効果的な関わりにつなげる。	小・中・義務教育学校にスクールソーシャルワーカー(SSW)、スクールソーシャルワークスーパーバイザー(SSWSV)を派遣する。	2,485	教育指導課
成果(取組)目標	担当指導主事とSSWが常日頃から連携し、学校からニーズがあった時に迅速に対応できるようにする。また、課題の大きなケースについては、SSWSVがアセスメントやアドバイス等に応じる。			

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	具体的な取組等
いじめを見つけなければならぬという事で、こういった指標とされていると思うが、件数だけで評価して良いかどうかは疑問を感じる。	<p>「認知件数」を一つの指標としていますが、数字のみで「いじめが増えている、減っている」と判断することは危険なことと認識しています。しかしながら、児童生徒の人権を守り、安心安全な学校生活を保障するためには、各校において、いじめを許さない学校づくりを通して、前年度より認知件数が減少するように努力することは大切なことです。学校には引き続き、常に「いじめを見逃していないか」「潜在化しているいじめがあるのではないか」と考えながら、児童生徒の様子を丁寧に観察することの大切さを周知します。併せて、「いじめの解消率100%」を達成することを最大の目標におきながら事業展開をしてまいります。</p>
指標の評価が見えにくくなっているという意見もあるが、ここでの指標は「いじめを積極的に認知する」という事を前提にした件数である。この立場からすると、私自身はここでの評価は積極的に認知ができなかったという理解に基づき評価されたものと考えられるため、逆に事業の評価が高くなる可能性も考えられると思う。指標については、個人的には理解の仕方により、異なった評価がされる可能性がある事を認識する必要があると考えるため、一方的な判断は断定的にされない方が良いのではないと思う。様々な評価が可能だと思うので、そのあたりは慎重に判断すべきだと思う。	
「3ヶ月いじめがなければ解消」という事にされているかと思うが、これだけでいじめが解消されたと判断するのは少し危険かと思う。もう少し違う良い指標があれば良いと感じた。	<p>文部科学省は、いじめが解消している状態を、「被害者に対する心理的または物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む)が止んでいる状態が相当の期間継続していること」とし、相当の期間については3か月を目安としています。併せて、「被害者が心身の苦痛を受けていないこと」の条件を満たして「解消」と示しており、これに準じて判断をしています。</p> <p>学校には、単に「3か月」という期間だけで判断せず、被害者本人や保護者への面談などで心身の苦痛を感じていないかどうかを確認すること、いじめが解消している状態に至ったあとも継続して、日常の様子を注意深く観察することの2点を指導しています。</p>

教育大綱:基本目標	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	2 一人ひとりを大切にする教育の推進

■具体的な施策

(8) 特別支援教育の推進		【教育指導課】			
各園小中学校間の連携のもと、しょうがいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた個別の指導計画及び教育支援計画の作成を一層進め、長期的な視点で子どもの自立に向けての適切な指導や支援を行います。また、子どもに関わる教職員の専門性向上の取組を進めるとともに、インクルーシブ教育システムの構築に努めます。					
現状と課題	通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒について、特別支援学級在籍児童生徒や通級による指導を受ける児童生徒同様に個別の指導計画が作成されているが、具体的な指導や支援への活用に課題が残る。				
重点的に取り組む視点	相談事業や学校間の引継ぎ、特別支援教育に係る会議等の資料として「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」を活用することで、指導・支援内容の確認や見直しの機会を作る。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
通常学級に在籍している児童生徒のうち、支援が必要と考えられる者で、「個別の指導計画」が学校で作成されている割合		93.0%	100.0%	100.0%	100.0%
特別支援学級在籍児童生徒及び通級による指導を受ける児童生徒の「個別の教育支援計画」を作成する割合		—	100.0%	100.0%	100.0%
特別支援学校教諭免許状の取得者数		69人	94人	100人	前年比増
事業名または取組名	目的	概要		予算(千円)	担当課
見直し 特別支援教育推進事業 (支援体制充実)	教職員の専門性を高め、適切な指導・支援が行える体制を整え、就学前からの切れ目ない支援体制を整備し、インクルーシブ教育システムの構築を図る。	特別な支援を必要とする幼児児童生徒に対するきめ細やかな指導・支援のため、合理的配慮を講じつつ「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」を活用を推進する。		36,601	教育指導課
成果(取組)目標	各種相談事業、園や学校間の引継ぎ、特別支援に係る会議等で「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の活用を推進し、特別な支援を必要とする幼児児童生徒に対するきめ細やかな指導・支援の充実を図る。				
事業名または取組名	目的	概要		予算(千円)	担当課
見直し 特別支援教育推進事業 (体験的活動充実)	体験的な活動等を通して、特別な支援を必要とする児童生徒の自立や健やかな成長を促す。	市内特別支援学級在籍児童生徒を対象に、合同交流会・学習発表会等を実施するにあたって、体験的な活動を充実させるための経費の補助を行う。		330	教育指導課
成果(取組)目標	特別支援学級の合同交流会および合同学習発表会等の体験的な活動を充実させるため、施設利用料等や活動に必要な消耗品費の負担軽減を図る。				

教育大綱・基本目標	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	2 一人ひとりを大切にする教育の推進

■具体的な施策

(9) 多様な学びの場を求める子どもや保護者の支援 【教育センター】

児童生徒の発達段階や発達課題及び家庭環境等に応じたきめ細かな教育相談活動の充実に努めるとともに、スクールカウンセラー等専門家や関係機関との連携を図ります。  
また、児童生徒の課題に応じた体験活動や生活改善に向けた指導・支援プログラム等を開発・実施し、児童生徒の自尊感情を高める、多様な学びの場を求める子どもへの教育機会の確保を推進します。

現状と課題	不登校の児童生徒は年々増加しており、多様な学びの場を求める子どもや保護者の支援ニーズは高まっている。また、発達に課題のある保護者からの相談や検査依頼も増加傾向にある。学校・家庭・関係機関と連携し、様々な方法で自己理解を促しながら社会的自立を図っていくことが課題である。
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

重点的に取り組む視点	保護者や学校の相談依頼に対して、カウンセラーや心理判定員・相談員・専門家による教育相談や指導支援を行う。不登校児童生徒に対する指導支援の場として、こどもサポートルームなないろを運営する。
------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

指 標(進捗管理目標)	計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
多様な学びの場を求める子どもが学校以外の場で学ぶことにより出席認定された数	13人	40人	45人	前年比増

事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 教育相談事業	不登校や発達に関する悩みを持つ保護者や教職員に対して、現状の見立てや支援方法の提案を行う等、きめ細やかな相談を行う。	①カウンセラーや心理判定員・相談員等による教育相談を実施する。 ②専門家(オプトメトリスト・作業療法士)を派遣する。	24,605	教育センター

成果(取組)目標	個の課題を適切に見立て、学校、保護者、関係機関と連携した早期支援に繋ぐ。 ①依頼に対し100%の実施 ②全20回派遣
----------	---------------------------------------------------------------

事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 こどもサポートルームなないろの運営事業	こどもサポートルームなないろにおいてきめ細やかな支援や指導を行い、不登校状況にある児童生徒の社会性や自己肯定感を育み、自立へとつなげる。	①学びの多様化学校(不登校特例校)を視野に入れつつこどもサポートルームの運営を行う。 ②スクーリング・ケアサポーターを配置する。	17,775	教育センター

成果(取組)目標	個別支援、小集団支援、アウトリーチ支援等、多様な通室支援のあり方を検討し、個別最適な不登校支援を行う。 ①②こどもサポートルーム通室生…前年比増
----------	-----------------------------------------------------------------------------

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	具体的な取組等
子どもの不登校や発達等に悩んでいる保護者がどこに相談して良いかわからない場合もあると思うので、引き続き保護者などへの相談窓口の周知をお願いしたい。	ホームページやそれぞれの機関が作成する「相談窓口リーフレット」への掲載、および「こどもサポートルームなないろ」に関するパンフレットの各学校への配布をさらに進め、加えてYouTubeでの紹介動画配信による周知を行います。
どのように子どもたちに安心感を与えることができるかがスタートだと思うので、オンラインの活用を含め、様々な方法を使いながら、今後ますます増加するであろう不登校児童生徒の支援をよろしくをお願いしたい。	オンライン通室、アウトリーチ支援(各学校での別室対応へのサポート支援)等、現在行っている方法の拡充を進めつつ、さらに個の状況に応じた多様な通室支援のあり方について検討し、個別最適な不登校支援を行います。



教育大綱:基本目標	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	2 一人ひとりを大切にする教育の推進

■具体的な施策

(10) 日本語指導が必要な児童生徒への支援		【教育指導課】			
日本語指導が必要な児童生徒が多数在籍する学校では、日本語教室の開設、日本語指導担当教員の配置、母語通訳のできる指導員や支援員の巡回により、学習指導、生活指導、教育相談等を行い、「やさしい日本語」視点も取り入れながら学校生活を円滑に送れるよう支援します。					
現状と課題	学校と各支援員が連携し、個に応じた指導・支援を行うことにより、外国にルーツのある児童生徒が学校生活を円滑に送っている。しかし、海外からの直接転入等により、日本語が全く話せない児童生徒が増加しているため、初期指導体制の強化が必要と考える。あわせて、対応言語の多言語化により、支援が困難な言語も増加傾向にある。				
重点的に取り組む視点	初期指導員の増員により、日本語の初期指導体制の強化を図る。				
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	外国人児童生徒教育サポート事業	日本語指導が必要な外国籍または日本国籍児童生徒が基本的な日本語コミュニケーション能力を獲得し、基礎的・基本的な学力を身に付け、卒業後の進学・就職など将来への展望をもつことができるよう支援する。	サポート指導員および支援員、学習指導員、初期指導員による初期指導の強化、個別の支援を充実させ、外国人児童生徒の就学を円滑にする。	27,754	教育指導課
成果(取組)目標		サポート支援員を最大限(年間9,000時間及び緊急派遣対応)活用し、外国人児童生徒教育の支援を充実させる。			

教育大綱・基本目標	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	3 確かな学力の育成

■具体的な施策

(11) 各学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの実施		【教育指導課】			
<p>子どもたちの姿や地域の現状の把握を基に、各教科等の教育目標を実現するために、相互の関係で捉え、教科横断的な視点で教育内容を組織的に配列していきます。また、「探究的な見方・考え方を働かせる」問題解決型の発展的学習等、教育内容の質の向上に向けて、教育課程の編成、実施、評価・改善を図る一連のPDCAサイクルを確立します。</p>					
現状と課題	<p>全国学力・学習状況調査において、本市の正答率が全国平均を下回っている。各校が行っている特色ある教育活動が各教科の学びの深化・発展につながるようカリキュラムの編成を見直すとともに、教科横断的な視点から活動内容の精選、見直しを図っていく必要がある。</p>				
重点的に取り組む視点	<p>各校の特色ある教育活動が各教科の学びの深化・発展へつなげるようカリキュラムの編成、実施を図る。特に中学校において、教科を超えた横断的な学びについて検証し、授業改善を図る。学校訪問や学力向上推進リーダー会議を通して、授業改善及び長浜スタイルの実践を徹底する。</p>				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
全国学力学習状況調査・国語の正答率と本市正答率との比較(全国学力・学習状況調査)		小 -2.8% 中 -2.8%	小 -1.2% 中 -5.8%	小 -0.8% 中 -0.8%	前年度比+ 0.5%
全国学力学習状況調査・算数(数学)の正答率と本市正答率との比較(全国学力・学習状況調査)		小 -1.6% 中 -0.8%	小 -2.5% 中 -4.0%	小 0.4% 中 1.2%	前年度比+ 0.5%
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	心輝く学校づくり推進事業	子どもたちに未来をたくましく生きる力を育成するため、各校において重点的で工夫ある取組を実践し、一人ひとりの子どもの夢や希望を実現させる「心輝く学校づくり」を進める。	各校の特色ある教育活動を支援し、確かな学力の定着と、たくましい心・豊かな人材育成をめざすための指導体制の充実に努める。特に、子どもたちに「真の学力」を身に付けることを最重要目標にして、具体的な取組を計画し実践する。	23,523	教育指導課
成果(取組)目標		<p>全ての授業において長浜スタイル「子どもが自ら学ぼうとする授業」を実施する。 「学びに向かう力」を育成する取組(学校行事、体験活動、園小中連携、交流活動等)を行う。</p>			

教育大綱・基本目標	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	3 確かな学力の育成

■具体的な施策

(12) 言葉の力の育成		【教育指導課】		
<p>言語に関する能力は全ての教科の基本であることから、思考力・判断力・表現力等を育む言語活動(読む力、書く力、聴く力、話す力)の充実を図り、自分の考えや意見を表現する活動を取り入れ、正しい日本語の書き方や論理的な思考を育みます。また、学校司書の配置や学校・園の蔵書整備等を進める等の学校図書館を活用した取組及び図書館との連携により、言葉の力の育成を図ります。子どもたちが幼児期から読書習慣を身に付けることができるように、読書環境の整備を進めます。</p>				
現状と課題	朝の読書や、教職員・学校司書・ボランティアなどによる読み聞かせやおはなし会の開催など、学校毎にいろいろな取組をおこなっているが、小学4年生から中学3年生で一か月間で本を読む冊数が1冊以下と回答した子どもの割合の推移は増加傾向にあり、学年があがるにつれて本を読まない実態がある。			
重点的に取り組む視点	学校司書や学校図書館担当との連絡協議会や研修の充実を図る。 各学校で統一した蔵書管理システムを導入し、新鮮で魅力的な棚作りに励み、子どもの読書意欲を喚起する。			
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 学校図書館教育の推進	学校司書を配置し、司書教諭等と連携協力しながら学校図書館の整備を進め、言語活動の充実につながる図書館活用の推進を図る。	全小・中・義務教育学校に学校司書を配置する。 学校司書連絡協議会及び研修会を実施する。 各学校で統一した蔵書管理システムを導入する。	19,143	教育指導課
成果(取組)目標	市内全小・中・義務教育学校に学校司書を配置し、学校図書館の環境整備や学校図書館を活用した活動を推進する。 市立図書館と連携しながら子どもたちの読書活動を推進し、言葉の力を育成する。			

(13) 英語教育の推進		【教育指導課】			
<p>今後ますます進展するグローバル化に対応できる資質や生き方を身につけた児童生徒の育成のため、小学校から中学校までの9年間の英語教育を推進します。小学校学級担任及び中学校英語科教員のより一層の指導力向上に努め、互いの考えや気持ちを伝えあう対話的な言語活動の充実等の授業改善に取り組みます。</p>					
現状と課題	全小・中・義務教育学校への英語講師の配置により、児童生徒はネイティブの英語に触れ、授業や日常生活の中で自然と英語を発する姿につながっている。今後、AIアプリの並用等を見据えたICT機器等の活用を図ることで、ネイティブの発音に触れる機会を増やし、言語活動の充実を図る必要がある。				
重点的に取り組む視点	・学校と英語講師の連携強化、及び、AIアプリの活用等を通して、授業力のさらなる向上を図る。 ・ICT機器を活用し、児童生徒を主体とした言語活動の充実を図る。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
CEFR(セファール)A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる 中学3年生生徒の割合		38.5%	46.1%	48.0%	50.0%
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課	
継続 英語教育推進事業	小学校から中学校までの9年間を通して、特色ある英語教育を推進し、児童生徒の国際コミュニケーション能力の基礎を培うとともに、豊かな国際性を育む。	①担任および英語担当者の指導力向上を図り、授業において豊かな言語活動を展開する。 ②外国語指導助手(ALT)/日本人英語講師(JTE)とのチーム・ティーチングを行う。 ※債務負担行為(R5年度～R6年度)	57,943	教育指導課	
成果(取組)目標	英語講師の効果的活用により、言語活動を中心とした授業を展開し、CEFR(セファール)A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる中学3年生生徒の割合を50.0%(R7年度目標)とする。				

教育大綱・基本目標	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	3 確かな学力の育成

■具体的な施策

(14) 理科教育の推進		【教育指導課】		
<p>高い専門的な知的資源を有する長浜バイオ大学と連携し、実験観察等の体験的学習活動を通して、児童生徒の自然科学への興味・関心・知的欲求を高めます。教員が子どもたちに理科の面白さをより実感させるための教材研究を進め、指導の一層の向上と充実を図り、感性豊かな探究心や問題解決能力、科学的な見方や考え方を育成します。</p>				
現状と課題	理科の学習の基盤となる子どもたちの自然体験や生活体験が乏しくなっている現状から、探究心や問題解決能力、科学的な見方や考え方を養うために、本物に触れる体験的学習が重要である。			
重点的に取り組む視点	高い専門的な知的資源を有する長浜バイオ大学において、学校だけではできない体験的学習活動を実施する。理科の面白さを実感し、自然科学への興味・関心を高めるために夏休み親子科学実験講座を開催する。			
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 「長浜学びの実験室」事業	児童生徒の科学への興味・関心を高め、探究心や問題解決能力、科学的な見方や考え方を育成する。 小・中・義務教育学校における理科教育指導の一層の向上と充実を図る。	長浜バイオ大学の教授等の指導のもと、市内の小・中・義務教育学校の児童生徒が長浜バイオ大学内「長浜学びの実験室」で、実験観察を主体にした理科学習を行う。学習内容は学習指導要領及び各校の教育課程に即し、各単元の指導計画に位置づくものとする。事前に大学教員と各校教員との協議を十分に行い、緊密に連携して実験講座を実施する。	2,620	教育指導課
成果(取組)目標	令和6年度の受講後に実施する児童生徒アンケートの満足度(「楽しかった」「短く感じた」「もっと受けたい」の平均回答率)が70%以上となるように努める。			
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 夏休み親子科学実験講座事業	児童生徒の自然科学への興味・関心や知的好奇心を高める。	夏季休業期間中に3日間(各半日ずつ計6回)程度、長浜バイオ大学の学生の協力を得て、市内の小・中・義務教育学校前期課程の児童とその保護者を対象に体験型の科学実験講座を開催する。	363	教育指導課
成果(取組)目標	令和6年度の受講後に実施するアンケートの満足度(「楽しかった」「わかりやすかった」「またやってみたい」の平均回答率)が88%以上となるように努める。			

教育大綱・基本目標	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	3 確かな学力の育成

■具体的な施策

(15) 教育の情報化の推進		【教育改革推進室】			
<p>情報化やグローバル化等の急激な社会的変化の中で、子どもたちが未来の創り手となるために必要な資質・能力を身につけられるよう、学校ICT環境整備と教員のICT活用指導力の向上を図ります。また、校務の情報化を推進し、教員が児童生徒に向き合う時間を増やし、教育活動の質の向上をめざします。</p>					
現状と課題	<p>学習用端末の整備から4年目になり、ICT活用については定着が見られる。教員のICT活用指導力についても市内全体としては向上が見られるが、学校間や個人の活用差がみられる。</p>				
重点的に取り組む視点	<p>教職員のICT活用指導力の向上を図り、授業支援ソフトを中心に授業でのICT活用を推進し、授業改善を進める。</p>				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
授業にICTを活用して「資料・意見等の提示」、「学習用ソフトウェアを活用した協働的な学習」ができると答えた教員の割合(学校における教育の情報化の実態等に関する調査)		53.7%	79.9%	90.0%	100.0%
事業名または取組名	目的	概要		予算(千円)	担当課
拡充 学校ICT活用推進事業	<p>児童生徒の学習への関心、意欲、理解を高めるために必要なICT環境や、学校・学級事務の負担を軽減することにより教員が児童生徒の指導に専念することができるICT環境の整備を推進する。</p>	<p>授業支援アプリやEdTechソフトウェアを活用した学習活動の充実を図る。統合型校務支援システムの運用支援を行う。</p>		62,034	教育改革推進室
成果(取組)目標	<p>令和6年度の授業のある期間における授業支援ソフトへの児童生徒のログイン率:80%以上</p>				

■ その他		【教育改革推進室】			
事業名または取組名	目的	概要		予算(千円)	担当課
継続 学力向上専門プロジェクトチーム会議	<p>本市が目指す「誰一人取り残さない長浜の教育の実現」を図るため、関係者による専門的な視点から幅広い助言、意見聴取等を行う。</p>	<p>「『真の学力』向上を目指すロードマップ～誰一人取り残さない長浜の教育の実現～Ver.2.0」に基づき、その具現化を図る。学力向上専門プロジェクトチーム会議とともに、市教育委員会事務局職員が事業内容を共通理解し、各校が共通実践につなげるため、学校訪問関係者会議、実務者会議を開催する。</p>		96	教育改革推進室
成果(取組)目標	<p>「学力向上専門プロジェクトチーム会議」を5回開催する。 「学校訪問関係者会議」、「実務者会議」を各2回開催する。</p>				

教育大綱・基本目標	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	4 豊かな心の育成

■具体的な施策

(16) キャリア教育の推進による自立心の涵養		【教育指導課】			
社会的自立・職業的自立に向けて、児童生徒一人ひとりのキャリア形成を支援するために教科・科目、総合的な学習の時間、特別活動等をはじめ教育活動全体を通じて発達段階に応じた指導を組織的・系統的に行います。また、勤労観・職業観を育成するため、職場見学や職場体験等の体験活動や進路指導の充実に努めます。					
現状と課題	生徒個々にとって、職場体験が自分の将来について考える貴重な機会となっている。よりよい学習となるように、事前指導の中で、勤労の意義について考えさせる必要がある。 コロナ禍の影響で、飲食関係や医療関係、福祉関係等の事業所の受け入れが難しく、生徒が希望する体験事業所の確保が困難である。				
重点的に取り組む視点	生徒の将来につながるよりよい職場体験となるように、新規の事業所を開拓したり、受け入れ事業所との体験内容について丁寧に協議したりする。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
「職場体験で自分の良さや適性等を発見したり、確認したりできた」と答えた割合(中学生チャレンジウィーク事後アンケート)		89.0%	93.1%	94.0%	95.0%
事業名または取組名	目的	概要		予算(千円)	担当課
継続	キャリア教育推進事業	自分の進路を選択できる力や、将来社会人として自立できる力を育てる。		1,377	教育指導課
成果(取組)目標		全生徒が自分の将来について考えるきっかけになるよう、市内全中学校・義務教育学校(後期課程)で職場体験を実施する。			
事業名または取組名	目的	概要		予算(千円)	担当課
継続	発達段階に応じたキャリア教育の推進	自立していくために必要な能力や態度を育成する。		0	教育指導課
成果(取組)目標		将来のキャリア形成と自己実現につなげることができるよう、キャリア・パスポートを活用し、子ども自身の各学年段階での学びや体験の軌跡を記録する。			

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	具体的な取組等
職場体験は、子どもたちが実際に職場へ行き、職場の人と直接会うという事が、人とのかわりという点でも大きな事だと思う。また、子どもたちが自分で体験する事で、働く厳しさであるとか、仕事へのあこがれなどを持つのではないかなと思うので、ぜひ子どもたちが実際に職場で体験ができるようにしていただきたい。	受け入れ事業所に協力を求めながら、市内の全中学2年生・義務教育学校8年生が職場での体験ができるように取り組みます。
子どもたちがなりたい職業等に向かって目標が持てるようなキャリア教育ができれば、もっとよくなるのではないかなと思う。なかなか難しいと思うが、現場の教師もそういった思いを持ちながら、子どもたちに指導ができれば、さらに良いと思うので、ぜひ教育委員会も現場を支援していただきたい。	夢や目標に向かって努力する子どもの育成を掲げながら、キャリア・パスポートの活用、自分を見つめ将来の夢を持つ機会の設定、職業人講話やマナー講習の中で社会で働く大人に触れる場を持つ等、今後子どもがなりたい職業等に向かって目標が持てるようなキャリア教育の推進に取り組んでいきます。

教育大綱・基本目標	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	4 豊かな心の育成

■具体的な施策

(17) 道徳教育・人権教育の推進		【教育指導課】			
道徳教育の充実を図り、学校の教育活動全体を通して他人を思いやる温かい心を育むとともに、わがまち・長浜を愛する子どもの育成を図ります。さらに地域と連携し、学んだことを生かして行動できる道徳的実践力を高めます。また、あらゆる教育活動を通じて子どもたちの自尊感情を高めるとともに、人権についての正しい理解と認識を培い、人権を尊重する実践的な態度の育成に努めます。					
現状と課題	多様な価値観や文化を尊重する教育の必要性が高まっている社会において、道徳教育の充実を図る必要がある。また、いじめ、暴言・暴力、差別落書き、障がい者や外国人への差別など、人権問題がますます深刻化する社会情勢において、市内の教職員や保育士が様々な人権について学習する機会を設ける必要がある。				
重点的に取り組む視点	市内の教職員を対象に、道徳教育研修会や人権教育研修会を実施し、道徳教育と人権教育に必要な力を育成する。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
「自分には、よいところがある」と答えた割合(全国学力・学習状況調査)		小 81.6%	小 85.9%	小 86.0%	小 87.0%
		中 76.2%	中 73.6%	中 78.0%	中 82.0%
事業名または取組名	目的	概要		予算(千円)	担当課
継続 人権教育の推進	子どもの自尊感情を高め、確かな人権感覚を育成する。	・教職員を対象とした人権教育研修会を、年に2回開催する。 ・3推進学区を指定し、各学期1回ずつ公開授業や研修会を実施する。		300	教育指導課
成果(取組)目標	研修会で身に付けたスキルを活かし、児童生徒の自尊感情を高めるとともに、人権を尊重する実践的な態度を身に付け、いじめや差別を許さない人権教育を推進する。				
事業名または取組名	目的	概要		予算(千円)	担当課
継続 道徳教育の推進	道徳科及び全教育活動における道徳教育の充実を図る。	道徳教育研修会(選択研修を含む)を年2回開催する。		0	教育指導課
成果(取組)目標	研修会で身に付けたスキルを活かし、児童生徒の他人を思いやる温かい心を育てるとともに、地域と連携し、学んだことを生かして行動できる道徳的実践力を高める。				

教育大綱・基本目標	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	4 豊かな心の育成

■具体的な施策

(18) 地域学習や文化芸術活動等の体験活動を通じた豊かな感性の醸成		【教育指導課】			
本市の豊かな自然や歴史、伝統文化等、様々な地域資源を生かした教育活動や体験活動を推進し、豊かな心や感性を培うとともに、郷土に対する誇りと郷土愛を育みます。					
現状と課題	本市の特徴である豊かな自然や歴史、伝統文化等を生かし、各学校の総合的な学習等において特色ある活動を行っている。これらの活動が持続可能なものとなるように、新たな地域資源や人材の発掘と確保が課題である。				
重点的に取り組む視点	地域の活動への参加を呼び掛けるとともに、地域の資源や人材を生かしながら、総合的な学習の時間をより充実した活動にする。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた割合(全国学力・学習状況調査)		小 83.3%	小 77.4%	小 83.0%	小 88.0%
		中 67.5%	中 48.7%	中 55.0%	中 72.0%
事業名または取組名	目的	概要		予算(千円)	担当課
継続 地域学習や伝統文化等の体験活動の充実	子どもの豊かな心や感性を培い、郷土に対する誇りと郷土愛を育む。	各校において、総合的な学習の時間等で、地域資源を生かした教育活動や体験活動を行う。		「心輝く学校づくり推進事業」予算の一部	教育指導課
成果(取組)目標	各校において、総合的な学習の時間等の活動がより充実した活動になるよう地域と連携をして取り組み、「地域に開かれた学校づくり」を推進する。				

(19) グローバルな視点での教育活動の推進		【教育指導課】			
国際感覚豊かな児童生徒の育成を図るため、多文化共生の観点から外国や日本の伝統文化に対する理解を深めます。また、環境問題について、地球温暖化やオゾン層破壊、海洋汚染等のグローバルな問題をはじめとして、あらゆる地域の環境保全に関心をもつとともに、SDGsの視点も取り入れた行動がとれるよう、地域の特色を生かした体験的な環境教育を推進します。					
現状と課題	外国にルーツのある児童生徒の増加に伴い、児童生徒の多国籍化・多言語化が進んでいる。これらの児童生徒が在籍する学校を中心に、異文化との共生・理解に関する授業や取組を実施し、他国の文化や生活様式等を知り、共に学ぼうとする学校風土づくりに努める必要がある。				
重点的に取り組む視点	多文化共生社会の基盤構築に向け、外国にルーツのある児童生徒と共に学ぼうとする学校・学級風土づくりに取り組む。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい」と答えた割合(全国学力・学習状況調査)		小 66.9%	小 70.5%	調査項目なし	小 72.0%
		中 58.7%	中 67.5%	調査項目なし	中 64.0%
事業名または取組名	目的	概要		予算(千円)	担当課
継続 外国人児童生徒サポート事業	外国にルーツのある児童生徒と共に学び合う学校づくりの推進により、多文化共生社会の形成に向けた教育システムの構築を図る。	・学校と連携し、日本語教室の充実を図り、異文化に関する情報を発信する場とする。 ・各校における取組を共有し、実践のさらなる充実を図る。		27,754	教育指導課
成果(取組)目標	外国や自国の文化・生活様式等に対する理解を深めるため、多文化共生の視点を踏まえた学校・学級経営を実施する。				



教育大綱・基本目標	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	4 豊かな心の育成

■具体的な施策

(20) 情報モラル教育の推進		【教育指導課】		
<p>児童生徒の携帯電話やタブレット等の利用の拡大、使用方法の変化に伴う、SNS等を通じたトラブルを防ぐため、学校・家庭・地域社会が一体となった取組を進められるよう、学校では、企業等に協力を求めながら情報技術やサービス等の最新の情報の入手に努め、児童生徒、家庭に対して情報機器の正しい使い方の知識を身に付けるための啓発を進めます。健康を害するような行動について医療の面からの啓発活動も学習活動に取り入れながら情報モラルを醸成する教育を推進します。</p>				
現状と課題	携帯電話やタブレット等の利用の拡大に伴い、SNS等を通じたトラブルが多く発生している。			
重点的に取り組む視点	一人一台端末の環境下で実施される授業での端末活用に合わせ、全教科を通じてネットトラブルなどを未然に防ぐ情報モラル教育の充実を図る。			
指 標(進捗管理目標)	計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身につけさせるための研修会や授業を行った学校の割合	—	小 100%	小 100%	小中学校ともに 100.0%
		中 100%	中 100%	
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 情報モラル教育の推進	情報機器やインターネットの利用によるトラブルの、被害者にも加害者にもならないような児童生徒を育成する。	児童生徒がスマートフォン等の情報機器を適切に利用できるよう、年齢に応じた家庭での利用ルールづくりの必要性について啓発を行う。 一人一台端末の環境下で実施される授業での端末活用に合わせ、全教科を通じてネットトラブルなどを未然に防ぐ情報モラル教育の充実を図る。	0	教育指導課
成果(取組)目標	一人一台端末の環境下で実施される授業での端末活用に合わせ、各校で引き続き適宜情報モラル教育を行う。端末を家庭でも利用するため、利用方法に合わせたモラル教育を実施する。			

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	具体的な取組等
WHOはゲームのやりすぎで日常生活に支障をきたす状態を依存症であると、ゲーム障害という病気として位置付けている。子どもたちが依存症になる前に、何らかの対策を取っていく必要があると考える。これらのことに対する具体的な取り組みが書かれていないので、ぜひ具体的な対策を立てていただきたい。	保護者には、学校だより等を通じて、スマホの使い方やゲームとの付き合い方の約束づくりの必要性を伝えていきます。また、市PTA連絡協議会を通して各校PTAを対象にした研修を実施し、引き続き保護者への啓発を行っていきます。

教育大綱・基本目標	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	5 健やかな体の育成

■具体的な施策

(21) 体力の向上と健康の保持増進 【すこやか教育推進課】

子どもたちの体力向上を図るために、日々の体育科学習の授業改善を推進します。また、運動に対する愛好的態度の向上をめざし、学校での休み時間等に進んで運動ができるよう取り組みます。  
 中学校の部活動では、専門性を持った指導員の配置や支援員の派遣を行い、生徒の競技力等の向上を図ります。  
 さらに、健全な生活習慣を身に付けるために、健康診断や調査に基づき、一人ひとりの実態に応じた指導・支援を行うとともに、「早寝・早起き・朝ごはん」運動等の取組を推進します。

現状と課題	「全国体力・運動能力、運動習慣調査」の結果、本市の小学5年生及び中学2年生の新体力テストの結果が、国や県の平均と比べ低い。
重点的に取り組む視点	縄跳びにチャレンジする機会を作り、総合的な体力アップを目指す。 特に本市の子どもが弱いとされる体力(柔軟性や持久力)を向上させる取組を重点的に行う。

指 標(進捗管理目標)	計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
新体力テストの体力合計得点				
・小学5年生	男子:50.99点	男子:50.00点	男子:52.50点	男子:55.00点
	女子:52.81点	女子:50.72点	女子:52.86点	女子:55.00点
・中学2年生	男子:41.86点	男子:41.94点	男子:42.47点	男子:43.00点
	女子:48.32点	女子:45.55点	女子:47.78点	女子:50.00点

事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 マイ体力アップ事業	子どもたちの体力向上と運動習慣の確立を図る。	・全小学校4年生の児童を対象に、子どもたちが縄跳びの跳んだ回数でびわこ一周をめざし、「Let's challenge!」カード5枚分(200キロ)が達成できたら、達成者に「びわ一賞」を贈る。 ・新体力テストの結果において、特に弱いと分析した項目が少しでも改善できる取組を検討する。	0	すこやか教育推進課

成果(取組)目標	・全小学校においてこの事業を実施し、体育の授業や休み時間などに積極的に取り組むよう各校に周知する。あわせて、達成者に賞状を贈ることで、児童のモチベーションを上げる。 ・体力向上に向けた取組を新体力テストの結果に反映させる。
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 部活動の地域移行推進事業	中学校における休日の部活動の地域移行及び地域連携の在り方を検討することで、子どもたちが多様な活動を体験できる機会を提供し、少子化の中でも将来にわたり活動を継続して取り組むことができる環境づくりを推進する。	地域の実情に応じた部活動のあり方や地域移行・地域連携の取組方針を示した「(仮称)長浜市部活動の地域移行推進計画」を策定する。	4,521	すこやか教育推進課／ 教育指導課／ 文化スポーツ課

成果(取組)目標	部活動の地域移行や地域連携の仕組みを、一校でも多くの学校で確立させる。
----------	-------------------------------------

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	具体的な取組等
計画策定時から実績値が下がっているが、令和7年度の目標達成に向けて検討が必要ではないか。	運動する機会を増やし総合的な体力アップを目指す従来の取り組みに加え、目標達成に向けて新体力テストで特に弱い項目(柔軟性や持久力)の改善に向けた取組みを各校で実施します。

教育大綱・基本目標	2 子どもの自立に向けて「生きる力」を育む教育を推進します
施策の基本的方向	5 健やかな体の育成

■具体的な施策

(22) 食育の推進		【すこやか教育推進課】		
<p>学校給食を通じて、子どもたちが「食」に関心をもち、栄養バランスや食の安全性等について正しい知識を身に付け、自分自身の健全な食生活について考えることができる力を養います。また、食文化や食に対する考え方が多様化する中で、様々な食材に関心をもち、学校・園、家庭、地域が連携しながら食育の推進に取り組みます。 食物アレルギーに関しても、正しい知識や理解をもつことができるような取組を進めます。</p>				
現状と課題	<p>食に広く関心をもち、栄養バランスの整った食事を摂ることができるよう学校給食を提供しているが、市内各校からの残菜が減らない。 家庭の食習慣の変化から、子どもたちの食経験が乏しくなっており、今後も栄養バランスの整った給食を提供するとともに、学校・家庭とより一層連携していく必要がある。</p>			
重点的に取り組む視点	<p>学校園と家庭、給食センターが引き続き連携し、子どもたちの食育をすすめる。 保護者や市民の給食の理解を深めるため、給食センターの一般開放や試食会の来所者の増加に向けて広く周知する。</p>			
指 標(進捗管理目標)	計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
バランスのとれた食事をすることは大切だと思っている児童・生徒の割合（食育アンケート）	—	小5 98.0 %	小5 99.0 %	小中学校ともに 100.0%
	—	中2 99.7 %	中2 99.7 %	
バランスのとれた食事をすることは大切だと思っている児童・生徒の割合（食育アンケート）	小5 90.6%	小5 90.6 %	小5 92.0 %	小5 93.0%
	中2 86.1%	中2 84.0 %	中2 86.0 %	中2 90.0%
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 学校給食を通じた食育の推進	学校給食を食育教材として活用し、子どもたちが健全な食生活を自ら営むことができる知識を養えるようにする。	ランチメッセージや食育の日の資料、献立表を通じた情報提供を行い、幼稚園と小学校の給食時間や授業を活用した食育指導を行う。SNSで毎日の給食や調理の様子、レシピ等を紹介し、家庭にも食育に関する情報発信をする。	0	すこやか教育推進課
成果(取組)目標	<p>食育指導をとおして子どもたちの食の知識、興味関心を促す。SNSを活用し、保護者に広く給食の情報提供を行う。 子どもたちが給食センターの見学をとおして給食の理解を深められるよう学校園に見学の勧奨をする。</p>			
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 学校給食の提供	栄養バランスを考えた給食を提供し、心身ともにバランスのとれた子どもたちの育成に寄与する。また食物アレルギーを有する子どもたちにも安心・安全な給食を提供する。	飽食の時代から、偏った食習慣になりつつある中、学校給食を通じて、さまざまな食事を摂ることができるようにする。また、食物アレルギーを有する子どもたちへの対応として、対応食を準備したり、教職員向けに食物アレルギー事故防止研修を実施する。	1,017,626	すこやか教育推進課
成果(取組)目標	<p>学校給食の提供をとおして、子どもたちの食の知識・意欲の向上を促す。また、学校・家庭と連携することで、残菜を減らし、子どもたちの食経験が豊富なものとなるようにする。</p>			

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	具体的な取組等
計画策定時から実績値が下がっているが、様々な家庭環境等で育っている子どもたちがいる中で、令和7年度の目標値までの改善はなかなか難しいのではないかと。	実績値はほぼ横ばいとなっていますが、目標値に近づけるため、栄養教諭を中心とした食育指導をはじめ、様々な機会をとおして朝食欠食率の減少に向けた取り組みを進めていきます。
子どもたちにとって、学校給食はとても大切なものだと思う。中学校に上がると、給食を食べる時間が短いのか、給食を残してしまうという声を聞いたことがあり、学校給食における残食がどうなっているのかが気になる。メニューによっては量が足りない子や多い子などいると思うが、クラスの中で個別に配慮はできないのかと思う。	食品ロスの観点からも食の重要性を給食を通して伝える必要があるため、さまざまな視点で食育指導に取り組みます。
他市の例であるが、家庭的にも苦しくはなく、給食費を払えるのに長期間払っていなかったという方がいたようである。もしこのような事例が起こった場合は、子どもたちにも悪影響を与えらると思うので、公平性の面からもしっかりと対応をして欲しい。	未納者に対してはこれまでも同様に早期の催促や催告等を実施するほか、的確に経済状況を把握しながら適正な債権回収に取り組んでいきます。

教育大綱:基本目標	3 学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします
施策の基本的方向	6 学校・家庭・地域による教育環境づくり

■具体的な施策

(23) 「長浜子どものちかい」「長浜子育て憲章」の推進		【教育改革推進室】			
長浜の未来を切り拓き、次代を担う子どもたちを育て導くために、「めざす子ども像」を掲げ、「長浜子どものちかい」「長浜子育て憲章」を子育て・教育の基盤に据えて、学校・家庭・地域及び関係機関、団体等の連携による教育環境づくりの取組を推進します。					
現状と課題	地域住民への浸透や普及が課題である。				
重点的に取り組む視点	より効果的な取組や機会を探り、普及に取り組む。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
「長浜子どものちかい」「長浜子育て憲章」の保護者・地域・各団体への周知、啓発回数		91回	95回	97回	100回
事業名または取組名	目的	概要		予算(千円)	担当課
継続 「長浜子どものちかい」「長浜子育て憲章」推進事業	「長浜子どものちかい・長浜子育て憲章」が子育て・教育の基盤として定着することを目指す。	様々な媒体を活用し、各校園、保護者、地域、関係機関・団体と連携して周知・啓発に継続して取り組み、保護者や地域への普及に努める。		88	教育改革推進室
成果(取組)目標	各校園、関係機関・団体との連携等により、啓発を実施する。				

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	具体的な取組等
啓発回数というより、啓発する内容が重要だと思うので、大変かと思うが引き続き事業の推進をお願いしたい。	児童生徒が取り組みやすい内容での事業推進や、「長浜子どものちかい」にちなんだ紙芝居の各園での活用による保護者への普及などにより、教育環境づくりを進めます。

(24) 学校運営協議会の推進		【教育指導課】			
「地域とともにある学校」の考えのもと、各校が学校運営協議会と連携を図りながら、保護者や地域の人の参画を得、その意見が反映される学校運営を進めます。また、学校・家庭・地域社会が一体となって、よりよい教育の実現に向けて取り組み、地域の創意工夫を生かした特色ある学校づくりを進めます。					
現状と課題	全ての学校で学校運営協議会を実施し、特色ある学校づくりを進めている。しかしながら、導入から10年以上が経過しているため、協議会が形骸化している部分も散見される。				
重点的に取り組む視点	コミュニティ・スクールの果たすべき役割や機能を再度理解するため、研修の充実を図り、校区での情報交換や交流を行う。また、地域学校協働本部をモデル地区に設置し、地域と学校の連携・協働の仕組みと体制づくりを進める。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
地域とともに進めるよりよい学校づくり満足度(長浜市民満足度調査)		3.39点	3.18点	3.40点	3.50点
事業名または取組名	目的	概要		予算(千円)	担当課
継続 学校運営協議会の推進	地域に開かれた学校づくりのため、学校運営協議会の充実を図る。	学校運営協議会代表者研修会を実施するなどして、各校園の学校運営協議会の取組について情報交換を行うとともに各協議会の交流を図る。		50	教育指導課
成果(取組)目標	研修等を通じて、各校園の委員がコミュニティ・スクールについての役割や果たすべき機能についてより深く理解し、各校園の取組に活かすことができる。				

教育大綱・基本目標	3 学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします
施策の基本的方向	6 学校・家庭・地域による教育環境づくり

■具体的な施策

(25) 子どもの安全を見守る体制づくりの推進		【すこやか教育推進課】		
<p>学校・家庭・地域が連携しながら、地域全体で子どもたちの安全を見守る体制づくりを進めます。特に、スクールガード登録者数の増加を図るために学校との連携を密にしながら、その活動を支援するとともに「子ども安全リーダー」、「おうみ通学路アドバイザー」や青少年センター、地域団体等の関係機関との連携を推進します。</p>				
現状と課題	各小学校におけるスクールガードの登録者数が減少傾向にある。また、高齢者の登録も多いため、若年層の登録を増やすことも今後の課題である。			
重点的に取り組む視点	スクールガードの登録人数を増やして、子どもたちの安全な登下校を見守る体制を強化する。			
指 標(進捗管理目標)	計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
スクールガードについて、次のいずれかを充足した小学校数 ・スクールガード登録率(登録者数/児童数) 25%以上 ・通学距離・危険箇所での必要人数率(登録者数/必要数) 100%以上	22校 (25小学校中)	19校 (25小学校中)	22校 (25小学校中)	25校 (25小学校中)
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 スクールガード活動の支援	子どもたちの登下校の安全確保を図る。	スクールガードへの登録を促進するとともに、活動に必要な物品配布等の支援を行う。	1,150	すこやか教育推進課
成果(取組)目標	スクールガードが、安全かつ快適に子どもたちの安全を見守ることができるよう、必要な物品の配布等の支援を行う。			

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	具体的な取組等
<p>自分の子どもや孫の入学を機会に、スクールガードを始められた方もおられる。中には子や孫の卒業後に継続した活動をするために、「まだまだ自分が必要とされている」といった誰かからの声かけを待っている方もおられると思う。ぜひ、この活動を継続したい方への声が届けられるよう、積極的な情報発信等をお願いしたい。</p>	<p>長浜市公式X、各校のホームページや広報誌でスクールガードの日ごろの活動の様子を紹介するなど、積極的な情報発信に努めます。</p>

教育大綱・基本目標	3 学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします
施策の基本的方向	6 学校・家庭・地域による教育環境づくり

■具体的な施策

(26) 児童虐待の早期発見と支援の充実		【こども家庭支援課】			
<p>学校・家庭・地域社会が連携・協力することにより、子どもの人権の尊重と安全・安心な環境を作ります。児童虐待防止のための相談窓口や啓発活動を進めるとともに、児童虐待の早期発見、早期対応を図るため、関係機関のネットワーク強化を図ります。各種相談体制や訪問事業等の子育て支援の体制整備を図ります。</p>					
現状と課題	自身が身を置く家庭環境において、十分な養育が受けられない、またはその環境に困り感や悩みを抱える子どもがいる。どこに相談したらよいか分からない子どもや養育者がいる。				
重点的に取り組む視点	地域資源を活用しながら、子どもが信頼できる大人との出会いや健やかな育ちを支える場をつくる。子どもも養育者も悩みや困りごとを発信できる身近な相談窓口を幅広く周知していく。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
児童虐待に関する啓発回数		9回	14回	12回	15回
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	子ども虐待DV防止支援事業	児童に対する虐待の防止、児童虐待の予防およびDVの早期発見、早期支援に関する施策を推進し、児童の権利利益擁護や女性の支援に資する。	長浜市要保護児童及びDV被害者対策地域協議会の運営し、要保護児童の早期発見や早期支援に係る取組(出前講座、児童虐待防止研修、啓発活動)を実施する。	725	こども家庭支援課
成果(取組)目標		長浜市要保護児童及びDV被害者対策地域協議会の運営 実務者会議 毎月 拡大実務者会議 2回/年 代表者会議 2回/年			
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
新規・拡充	子どもの居場所づくり促進事業	児童虐待のリスクの高まりを踏まえ、子育て世帯が孤立しないよう支援するため、支援ニーズの高い子ども等を見守り、必要な支援につなげる体制の強化を推進し、子どもの居場所づくりを促進する。	子育て世帯訪問支援事業【拡充】、子育て短期支援事業【拡充】、支援対象児童等見守り強化事業【新規】を実施する。	8,796	こども家庭支援課
成果(取組)目標		子育て世帯訪問支援事業 :のべ利用回数 80回 子育て短期支援事業 :のべ利用日数 14日 支援対象児童等見守り強化事業:利用世帯 10世帯			

教育大綱・基本目標	3 学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします
施策の基本的方向	7 子育て支援体制の充実

■具体的な施策

(27) 保育サービスの充実		【幼児課】			
<p>社会情勢や子育てに対する意識の変化等による保育ニーズが多様化している中、全ての就学前の子どもに、その発達や家庭状況に応じた教育・保育を提供するため、待機児童の解消に繋げるとともに、子どもや子育て家庭に必要かつ良質なサービスの提供及び教育の充実に向けた、環境整備を図ります。</p>					
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援体制の充実のため、全園で未就園児広場の開催や子育て専門相談員を配置している。</li> <li>・長時間保育ニーズの増加や多様化する保育ニーズへの対応、待機児童解消のため、保育士等の一層の人材確保が必要である。</li> </ul>				
重点的に取り組む視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て専門相談員の意見交換会や研修会を実施し、支援体制の充実を図る。</li> <li>・保育士不足が解消されていない現状を鑑み、保育士確保のための3つの支援策(奨学金返還支援、居住支援、再就職支援)の継続実施を図る。</li> </ul>				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
保育所・認定こども園(長時部)の待機児童数		35人	5人	5人	0人
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	子育て支援事業	園児及び地域の未就園児とその保護者を対象に、保護者同士の交流の場を提供したり、子育て相談を行い、子育てへの安心感や親としての喜びや充実感を感じてもらう。	公立20園において子育て専門相談員の子育て相談を実施する。 公立20園で未就園児広場を開催する。子育て支援課と連携し、園による地域の子育て支援機能を強化する。	6,219	幼児課
成果(取組)目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て専門相談員の意見交換、研修機会の充実に取り組む。</li> <li>・子育て支援センターとの連携を図り、未就園児広場開催回数の増加に取り組む。</li> </ul>			
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	保育人材確保対策事業	保育の担い手となる保育士等の人材を確保することにより、待機児童の解消につなげる。	3つの経済的支援を実施する。 ・保育士等奨学金返還支援金 ・保育士等寄宿舍居住支援事業補助金 ・保育士等再就職定着応援金	8,036	幼児課
成果(取組)目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士等採用試験受験者数の増加のため、PR事業(オープン市役所、就職フェア出店、大学訪問)を実施する。</li> <li>・より働きやすい園職場となるよう、働き方改革(業務効率化、DXの推進等)を進める。</li> </ul>			

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	具体的な取組等
<p>保護者の方から、入園に向けて、実際に園を見に行きたいが、コロナ禍で園開放の機会が乏しいため、早く園開放を再開して欲しいという声をよく聞いた。未就園児のための事業で、さらに保育士の確保が必要になるかと思うが、こういった親子を園に繋ぐような場所も必要だと思うので、保育士がもっとたくさん増えてくれれば良いと思う。</p>	<p>コロナ禍の制約もなくなり、令和5年度からは公立全園で未就園児広場を開催しています。身近な園で未就園児親子が集い、つながりができるような機会となるよう継続していきます。また、保育人材については奨学金返還支援、居住支援、再就職応援金の各補助制度の予算確保や大学訪問の強化等により、一層の確保に努めてまいります。</p>

教育大綱:基本目標	3 学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします
施策の基本的方向	7 子育て支援体制の充実

■具体的な施策

(28) ひとり親家庭への支援		【こども家庭支援課】			
母子・父子自立支援員を子育て支援課に配置し、生活全般の相談を行います。また、同じ悩みを抱える人の交流や相談の場について紹介します。					
現状と課題	ひとり親家庭の生活の安定のため、離婚前から支援を行い、継続的な支援を行う必要がある。				
重点的に取り組む視点	ひとり親の経済支援の一助となるよう、養育費に関する相談等を行う。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
ひとり親家庭の相談件数		2,122件	2,352件	2,400件	2,500件
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	ひとり親家庭支援事業	ひとり親家庭の生活の安定と向上のための支援を行う。	ひとり親家庭自立支援教育訓練補助事業等、各種補助事業を行うほか、ひとり親家庭に対し、就労相談や生活全般の相談、離婚前相談を行う。	4,365	こども家庭支援課
成果(取組)目標	ひとり親の精神的、経済的自立を図るため、相談者に寄り添った支援、相談を行う。				

(29) 放課後児童クラブの充実		【こども家庭支援課】			
放課後児童クラブが、保護者の仕事と子育ての両立を支援し、子どもたちが安全で楽しく過ごせる場所となるよう、学校、地域、関係機関が連携し増加するニーズに応じた施設を確保するとともに、運営の充実を図ります。					
現状と課題	児童数は減少しているものの、ニーズ(放課後児童クラブへの通所申込児童数)は増加している。				
重点的に取り組む視点	公設児童クラブの支援員確保や運営場所の確保に努めると共に民間児童クラブの開所を促し、市域全体の受入れ体制の充実に努める。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
放課後児童クラブの待機児童数		214人	0人	0人	0人
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	放課後児童クラブ運営事業	就労等により保護者が昼間家庭にいない小学生を対象に、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図る。	放課後の子どもの居場所を確保するため、放課後児童クラブを実施する。	637,327	こども家庭支援課
成果(取組)目標	放課後児童クラブの待機児童をなくす。				



教育大綱・基本目標	3 学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします
施策の基本的方向	8 人権尊重の社会づくりの推進

■具体的な施策

(30) 人権学習・啓発等の推進		【人権施策推進課】			
<p>全ての人がお互いの「個性」を尊重し、多様性を認めあい、互いに支えあいながら人権が尊重される社会の実現をめざして、人権をめぐる今日の社会情勢を踏まえた人権学習・啓発等を推進し、学校・地域・家庭・企業・関係団体等が協力しあい、人権意識の高揚を図ります。既存の人権問題の変化や、インターネットにおける人権問題やセクシュアルマイノリティの人権問題といった新たな人権問題等、時代の変化にあわせた人権啓発の取組を進めます。</p>					
現状と課題	自治会学習会は、自治会、地域事務局、行政が協力し、自治会が主体的に実施してきたが、開催手法や参加者の確保など苦勞されている自治会は少なくない。市主催のじんけん連続講座等も含めて、日頃人権について関心の低い層に対して、どのように啓発し、巻き込んでいくかが課題となっている。				
重点的に取り組む視点	市内全ての自治会での人権学習会の実施及び各地域の人権のつどいが実施できるよう、テーマ選定、資料提供、講師情報の提供など全面的な支援を行う。また、幅広いテーマによるじんけん連続講座を開催し、市民の人権意識の向上を図る。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
自治会での人権学習会の評価(5段階評価)		4.6	4.1	4.6	4.8
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	人権尊重都市推進事業	人権が尊重される社会の実現をめざす。	自治会における人権学習会及び地域人権学習協議会における地域人権のつどいの開催並びに街頭啓発の実施など広く人権学習・啓発を推進する。	3,845	人権施策推進課
成果(取組)目標		地域人権学習会実施評価4.6以上(5段階評価)			
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	じんけん連続講座事業	人権尊重のための知識をより一層養う。	様々な人権テーマを題材に、多くの市民が人権問題についての正しい理解と認識を深め、差別解消に向けた理解を促進する。	68	人権施策推進課
成果(取組)目標		市民協働事業(市民団体による人権講演会等の開催)と連携し、異なるテーマによるじんけん連続講座を年3回以上実施する。			

教育大綱・基本目標	3 学校・家庭・地域のつながりを深め、地域全体の教育力の向上をめざします
施策の基本的方向	8 人権尊重の社会づくりの推進

■具体的な施策

(31) 男女共同参画に関する学習機会・啓発等の推進		【人権施策推進課】		
男女の人権が尊重され、一人ひとりが地域や家庭・職場等、社会のあらゆる分野でいきいきと活躍できる男女共同参画社会の実現をめざして、学習機会の提供や意識啓発等を推進します。				
現状と課題	男女共同参画市民意識調査結果(R3)より多くの分野で「男女平等ではない」と感じる人が多かった。また希望する職種・業種の求人が地域内で少なく、就労意欲が高い女性であっても地域での就労につなげていないこと、家事・育児・介護の多くの部分を女性が担うことによる家庭と仕事の両立に対する不安感などがあり、働く場においての女性が活躍できる環境づくり、男性の家事育児参画など家庭、地域、職場で男女がともに主体的に関わることができる環境づくりが必要である。			
重点的に取り組む視点	女性一人ひとりが自分に合った働き方ができる就労の支援や、男性や様々な年齢層に合わせた啓発等を行い、男女共同参画・女性活躍に対する意識の醸成と理解の深化を図る。			
指 標(進捗管理目標)	計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
固定的な性別役割分担意識にとらわれない人の割合(男女共同参画に関する市民意識調査)	58.9%	— ※	70.0%	70.0%
※男女共同参画に関する市民意識調査は5年ごとに調査(令和3年度実施)となっており、次回は令和8年度に実施。				
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 長浜ジョブカフェ事業	地域・家庭・職場等様々な場面で、女性が活躍できる社会の実現をめざす。	セミナーや交流会等の女性活躍推進事業を実施するとともに子育て世代の居場所づくり、仲間づくりの場を総合的に提供し、女性の起業や活動につながる支援をする。	750	人権施策推進課
成果(取組)目標	長浜ジョブカフェ事業における行動率 70% (行動率:開業・事業開始した人数/受講者合計)			
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 男女共同参画啓発事業	性別に関係なく一人ひとりがいきいきと活躍できる社会の実現をめざす。	街頭啓発や研修会、ワークショップ等男女共同参画啓発事業を実施し、男女共同参画の意識の改革を進める。	900	人権施策推進課
成果(取組)目標	男女共同参画の意識向上のため、男性の家事育児参画のきっかけづくりとして、男性(父親及び祖父)をターゲットにした啓発講座を2回開催する。			

教育大綱:基本目標	4 地域の伝統・文化を生かし、郷土を愛する心を育てます
施策の基本的方向	9 地域の伝統・歴史・文化の継承

■具体的な施策

(32) 文化財の調査と保護の推進		【生涯学習課(文化財保護室)】			
<p>本市には、未指定を含めた多様な文化財が数多く存在し、それら貴重な文化財を市民の財産として親しまれるよう、積極的に基礎的な調査と資料整理を行うとともに、文化財指定等を通じて文化財保護に努めます。 市内の文化財の写真・解説・伝統行事等のデジタル化を進め、データベース化し歴史文化資産として活用することに努めます。 歴史文化発信の基礎となる資料の収集に取り組むとともに、個人や地域で守れなくなった文化財を保存する収蔵庫については、既存施設の再編等を進める中で収蔵スペースを拡大し、適切な保存環境の確保に努めます。</p>					
現状と課題	<p>本市には、476件(R6.2月時点)の指定文化財と830件の埋蔵文化財が分布しているが、少子高齢化や後継者不足、相続の問題等、文化財を維持していく環境は厳しさを増している。 このため、文化財を地域で守る体制、総合的な文化財の把握、他計画との連動、資金の調達、保存・活用施設の役割、人材育成と技術者の養成、文化財の普及啓発が課題である。</p>				
重点的に取り組む視点	文化財を後世に繋げるため、文化財の調査や修理、伝承、管理に努める。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
指定文化財の件数		453件	476件	476件	459件
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	名勝慶雲館庭園保存整備事業	国指定名勝である慶雲館庭園の整備を進める。	令和6年度は植栽修復剪定、園路などの修理を行う。	4,000	生涯学習課(文化財保護室)
成果(取組)目標		作庭から時間が経ち、変化してしまった慶雲館庭園を作庭当初の姿に復旧するための事業を継続して行う。			

(33) 歴史文化の継承		【文化観光課(歴史まちづくり室)】			
<p>市民が自分たちの地域の歴史や文化を通じて郷土を愛する心と豊かな情緒を培い、歴史文化が市民にとってさらに身近なものになるよう、関係機関と連携し、学校の授業や地域を対象に、歴史講座や伝統文化の体験学習等を開催します。 地域の文化財を後世に伝えるため、文化財を地域で守る体制を確立し、保存活用団体等の活動を支援します。さらに、文化財を歴史文化遺産として市内に点在している文化財をジャンルやエリアで一体として捉え、保存活用する体制を進めます。 歴史文化を学び、語り伝える人材を育成する為、歴史文化に関する学習機会を提供します。また、文化財の保存・修理に関わる技術者養成の支援を行います。</p>					
現状と課題	<p>過疎化や少子高齢化にともなう担い手不足により、地域における文化財の滅失や散逸の危機に直面している。市民や子どもたちが郷土の歴史や文化を学ぶ機会は、博物館・資料館が各館友の会と共催で実施している。</p>				
重点的に取り組む視点	<p>地域の歴史・文化、文化財は地域のつながりの中に存在しているため、地域住民が「自分たちの文化財」として捉え、主体的に継承活動に参加することが重要である。博物館・資料館での教育普及活動等を通して郷土への愛着と誇りを持つことのできる機会を提供する。</p>				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
地域にある文化財を保護・活用する保存活用団体等の数		1件	1件	1件	3件
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	博物館・資料館における教育普及事業	市民や子どもたちが長浜の歴史・文化を通じて、郷土への愛着と誇りを持つことのできる機会を提供する。	博物館・資料館において、長浜市の歴史や文化をテーマとした魅力ある講演会や現地研修、体験学習等を各館友の会と共催で実施する。	0	文化観光課(歴史まちづくり室)・生涯学習課(文化財保護室)
成果(取組)目標		長浜城歴史博物館・浅井歴史民俗資料館・高月観音の里歴史民俗資料館の教育普及事業参加者数を増やす。			

教育大綱・基本目標	4 地域の伝統・文化を生かし、郷土を愛する心を育てます
施策の基本的方向	9 地域の伝統・歴史・文化の継承

■具体的な施策

(34) 歴史文化の活用と情報発信		【文化観光課(歴史まちづくり室)】				
<p>観光や地域振興等、他の部署と連携を図り、歴史文化を活かしたまちづくりを推進します。                  資料館を地域の歴史文化を活かした住民主体の魅力ある地域づくりの活動拠点として体制の強化を図ります。                  各歴史文化施設の特徴を生かしながら、その地域の歴史文化や先人をテーマにした展覧会・講演会・見学会等を行い、これらを刊行物やインターネットを活用して情報発信することで、本市の魅力を広く内外に周知する機会を増やします。</p>						
現状と課題	各歴史文化施設は開館から数十年が経過している施設が多く、躯体の老朽化が顕著である。また、個人や集落で管理できなくなった資料の寄託・寄贈が増え続けているが、収蔵庫はほぼ満載状態である。収蔵できない資料は廃校となった学校施設等を利用してあり、収蔵品の適正な保存環境の確保や管理が難しくなっている。					
重点的に取り組む視点	湖北・長浜に関する資料収集・保存、調査研究、展示、教育普及活動を通して、地域のアイデンティティの根幹をなす「地域の歴史と文化」を広く市民や子どもたちに伝え、より深く知る機会を提供することで、地域愛や誇りを醸成する。また、地域博物館・資料館として、歴史や文化による地域振興、観光振興へ寄与する。					
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値	
長浜城歴史博物館の入館者数		99,481人	92,000人	100,000人	130,000人	
事業名または取組名		目的	概要		予算(千円)	担当課
継続	長浜城歴史博物館展覧会開催事業	長浜城歴史博物館における展示、教育普及活動等を通して、地域のアイデンティティの根幹をなす「地域の歴史と文化」を広く市民や子どもたちに伝え、より深く知る機会を提供することで、地域愛や誇りを醸成する。	湖北・長浜の歴史文化や人物に関する展覧会や、市民の関心が高い時宜にあった展覧会を開催し、長浜市が持つ歴史の多様性や魅力を広く紹介する。		8,467	文化観光課(歴史まちづくり室)
成果(取組)目標		長浜城歴史博物館の入館者数を増加させる。				

教育大綱:基本目標	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	10 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

■具体的な施策

(35) 誰もが学べる場の提供		【生涯学習課】			
市民の身近な学びの場として、まちづくりセンターや文化ホール、体育施設、図書館等が主に活用されることから、各施設の立地環境や地域の特性に応じた、市民が取り組みやすい学びの場を提供するよう努めます。					
現状と課題	すべての地域のまちづくりセンター等において、地域の文化や歴史、自然などを生かした体験活動や学習活動など多様な生涯学習事業を実施している。子どもから大人まで地域全体で学びを推進していく体制を整えていく必要がある。				
重点的に取り組む視点	まちづくりセンター等を地域の学びの拠点として活用し、主体的な学びを通じて自己成長し、つながりを深め、学びの成果を地域に生かしていくことで、学びの充実と地域の活性化がよい循環となるような生涯学習を推進する。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
地域に根ざした生涯学習事業(学びと生涯学習のまちづくり推進事業)の計画講座数		429講座	350講座	400講座	460講座
子ども学び座の計画講座数 →上段に統合		上段に統合	上段に統合	上段に統合	上段に統合
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	子ども学びと生涯学習のまちづくり事業	地域における生涯学習拠点を活用し、地域の特性を活かし市民ニーズに応じた生涯学習機会を提供する。	全地域のまちづくりセンター等で、子どもから大人までの生涯学習講座を実施する。	2,640	生涯学習課
成果(取組)目標		多種多様な生涯学習講座や異世代間交流事業などの学びの場を通して、地域への誇りや愛着を育み、人づくり、つながりづくり、地域づくりの機会を提供する。			

(36) 多様な学びの機会の提供		【生涯学習課】			
各年齢層や性別によって学びの関心や重要度も異なることから、あらゆる世代に対応できるような学習種別と機会の提供に努めます。また、市民にわかりやすく系統立ったプログラム編成をめざします。					
現状と課題	各地域において子どもから大人までの生涯学習事業を実施している。年代によって求める学びの内容が異なるため、ニーズに応じた講座内容の充実が必要である。				
重点的に取り組む視点	地域の高校や大学、企業、市民活動団体、NPOなど多様な組織や団体との連携・協働を推進しながら、多様な学びの機会を提供する。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
生涯学習講座(学びなおし講座)の計画講座数		9講座	3講座	5講座	12講座
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	地域と学校の連携と協働による「生きる力」育成事業	地域住民や地元団体など、多様な主体の参画を得ながら、子どもたちの地域での学びを通じた「生きる力」を育成する。	モデル地域を設定し、地域と学校の連携・協働の仕組みと体制づくりを進める。学校と地域をつなぐコーディネーターを配置し、地域と学校の連携による学びや活動を行う。	586	生涯学習課
成果(取組)目標		子どもの生きる力や地域への愛着、誇りを育むために、学校と地域をつなぐコーディネーターを配置し、子どもが地域住民との関わりを通して多様な経験ができるような活動を推進する。			
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	地元先生育成プロジェクト	大学等の高等教育機関やまちづくりセンター等の社会教育施設において、専門的な学習機会の提供を行い、学んだ知識を次世代の地域人材へ伝えられる人を育成する。	びわ湖東北部エリアの大学や市内県立高等学校等と連携し、学びから地域で活躍する人材の育成を図る講座を実施する。	250	生涯学習課
成果(取組)目標		身近な地域資源を愉しみながら学ぶことで、地域の魅力を再発見し、学んだ知識を次世代の地域人材に伝えられる講座を行う。			

教育大綱:基本目標	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	10 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

(37) 学びを深める人づくりの支援 【生涯学習課】

学びを深め広げるには、多様な知識や考えを持った多くの人材を必要とします。知識や技能を習得するばかりでなく、他の機会に共有できる仕組みづくりに努めるとともに、長浜を愛し、地域づくり活動へつなげるよう支援していきます。

現状と課題	リーダー育成や地域人材育成を目的とし、ながはま市民協働センターとも連携を図りながら事業を実施。人づくりについてはすぐに成果が出るものではないため、中長期的な視点で持続可能な計画を立て実施していくことが必要である。
重点的に取り組む視点	地域の歴史や文化、自然体験など子どもの学びの場づくりや異世代間交流、将来の地域づくりを担うリーダーの育成を図る。

指 標(進捗管理目標)	計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
リーダー育成事業 目標人数に対する参加率	80.0%	80.0%	85.0%	90.0%

事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 地域リーダー育成事業	地域の中学生から大学生に、地域で活躍できる場所を提供し、より能動的な関わり合いを促すことで、地域の次のリーダーを育成する。	地域の中学生、高校生、大学生がリーダーとして、小学生のキャンプ活動や子ども文化祭を企画、運営する。	80	生涯学習課

成果(取組)目標	地域の中学生、高校生、大学生がリーダーとして地域で活躍することで、ともに活動する小学生が次のリーダーとして活躍したいと感じ、良い循環となる。
----------	------------------------------------------------------------------------

事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 【再掲】地元先生育成プロジェクト	大学等の高等教育機関やまちづくりセンター等の社会教育施設において専門的な学習機会の提供を行い、学んだ知識を次世代の地域人材へ伝えられる人を育成する。	びわ湖東北部エリアの大学や市内県立高等学校等と連携し、学びから地域で活躍する人材の育成を図る講座を実施する。	250	生涯学習課

成果(取組)目標	身近な地域資源を愉しみながら学ぶことで地域の魅力を再発見し、学んだ知識を次世代の地域人材に伝えられる講座を行う。
----------	----------------------------------------------------------

(38) 学びのための情報発信 【生涯学習課】

学びの機会を設けたときは、適切に周知することが必要です。地域や対象等、適切な範囲に適切な情報提供を行います。

現状と課題	生涯学習情報誌「生涯学習のおさそい」を発行し、紙媒体と市ホームページで周知をしているが、情報が探しにくい、届きにくいなどのご意見もある。必要な人に必要な情報を、適切な媒体で届ける仕組みが必要である。
重点的に取り組む視点	生涯学習講座などの学習情報について、必要な時に必要な情報が入手できるよう、様々な手段を活用して効果的な発信を図る。

事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 学びの機会や場の情報提供	市民が様々な手段で生涯学習講座などの情報を得る機会をつくる。	市学習情報誌「生涯学習のおさそい」を発行し、市ホームページに掲載する。また、県の生涯学習情報サイト「におねっと」と連携し、情報発信を行う。	0	生涯学習課

成果(取組)目標	誰もが自分の希望する講座を探すことができるよう、紙媒体の見出し等を工夫し、市ホームページの情報を定期的に更新する。
----------	-----------------------------------------------------------

教育大綱:基本目標	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	10 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

(39) 図書館サービスの充実 【生涯学習課(図書館)】

市民の多様で高度な資料要求に応え、市内全域にサービスを届けるために、中央図書館機能を持つ長浜図書館を要として各図書館が一体となった体制を確立します。また、レファレンス機能を強化し、一人ひとりに寄り添ったきめ細かい資料提供をおこなうことで、市民が暮らしの中でより身近で便利に図書館を利用できるようサービスの充実に努めます。

現状と課題	多様で高度化する市民の資料要求に迅速かつ確に定めるために、幅広い蔵書構築をおこなうとともに、より質の高いサービスを提供するために専門職の人材育成を進める必要がある。
重点的に取り組む視点	市民の知的好奇心を喚起し選ぶ楽しみを提供するため、魅力的な書架づくりに取り組む。また、レファレンスサービスは、調査研究支援において不可欠な業務であるため資料収集と職員研修を計画的におこなう。

指 標(進捗管理目標)	計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
レファレンス事例のホームページ公開件数	—	14件	15件	15件

事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 レファレンス事例の公開	カウンター等で受け付けた質問の調査事例を公開することで、レファレンスサービスを広く周知し、活用の促進を図る。	レファレンス事例を図書館ホームページに公開する。	0	生涯学習課(図書館)
成果(取組)目標	蓄積したレファレンス案件の中から、身近な地域(郷土)の事例や児童向けの事例を中心に公開することで、市民の興味関心を喚起する。			

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	具体的な取組等
レファレンスサービスについて、一般編や児童編と分かりやすく公開されているとお聞きし、親しみが持てるものだと感じた。	レファレンス事例のホームページ公開を継続し、令和6年度も児童編、地域編の内容を追加し、情報発信に努めます。

教育大綱:基本目標	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	10 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

(40) 図書館を情報拠点とした市民の学習活動の支援 【生涯学習課(図書館)】

市民の知る自由を保障するため、誰もが図書館サービスを利用してあらゆる学習活動を深めることができ、地域の活性化・暮らしの豊かさにつながるための情報拠点となるよう、市民に役立つ資料を充実させ、市民の学習活動の場を提供します。そして、これらの成果を情報として蓄積し、新たな学習活動につなげていきます。

現状と課題	来館が困難な人や一般的な資料の利用が困難などの人も含め、誰もが利用しやすい資料や知的好奇心を喚起し暮らしに役立つ資料を収集・保存していく必要がある。
重点的に取り組む視点	すべての市民の資料要求に応えるため、多言語の資料や図書以外の形態の資料も含め幅広く収集し、提供する。

指 標(進捗管理目標)	計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
図書館における貸出冊数	873,970冊	837,000冊	900,000冊	1,300,000冊

事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 資料の充実	将来にわたって市民の生涯学習の拠点となるために、地域に関する資料や暮らしに役立つ資料、知識を深める資料を幅広く計画的に収集する。	市民に寄り添い暮らしを支える図書館として、地域資料、多言語資料など様々な媒体の資料を計画的に収集する。	33,093	生涯学習課(図書館)
成果(取組)目標	市民の要求に応えられるよう、幅広く資料を収集し活用する。			

事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 資料および学習機会の提供	暮らしや仕事、生活に役立つ資料を提供することで、市民の学習活動を支援し、豊かに生きるための学びの機会を推進する。	市民のニーズに沿った資料や知的好奇心を喚起する資料を収集・提供するとともに、様々な市民活動や市の政策と関連した展示をおこなうなど、市民の学習意欲を高めるような情報提供をおこなう。	0	生涯学習課(図書館)
成果(取組)目標	関係課と連携し、幅広い層を対象に情報提供をおこなう。			

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	具体的な取組等
いつも図書館の本の展示コーナーを見せていただいている。そこでは図書館がこういった情報提供をされたいのかが感じられ、いつも楽しみにしている。是非、これからも展示に力を入れていただきたい。	引き続き、展示コーナーについては季節や時節に合わせた幅広い分野の図書を紹介してまいります。



教育大綱・基本目標	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	10 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

(41) 子どもの読書活動の推進 【生涯学習課(図書館)】

読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。そのため、子どもたちが幼児期から読書習慣を身に付けることができるように、学校・園、家庭、地域が連携・協働体制をとり読書環境の整備を進めます。

現状と課題	小中学生ともに読書冊数が減少傾向にある。特に中高生への貸出冊数が減少しているため、来館誘致や若者世代の興味関心をひく取組をおこなう必要がある。また、すべての子どもが本に親しめる環境づくりをすすめる必要がある。
重点的に取り組む視点	どの年代の子どもへも一人ひとりの環境や多様性に応じた読書環境の整備や働きかけをすすめていく。

指 標(進捗管理目標)	計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
1か月間の読書冊数が1冊以下の割合 ・小学4年生から6年生	8.8%	11.4%	7.8%	7.5%
1か月間の読書冊数が1冊以下の割合 ・中学生	33.9%	41.0%	30.0%	15.0%

事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 「つなごう 子どもと本のば そう けやきっ子」推進事業	読書を通じて市の木のけやきのようにのびのびと豊かに生きる長浜の子「けやきっ子」を育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4か月児健診でブックスタートをおこない、乳幼児期から絵本と親しむ家庭環境を整備する。</li> <li>・読書離れが顕著な中学生から大学生世代に向けて、読書活動を促す事業をおこなう。</li> <li>・多様な背景をもつ子どもたちが読書を楽しむための資料の収集・利活用を進める。</li> <li>・子どもの読書活動に理解と関心が深まるよう、大人への情報発信と啓発をおこなう。</li> </ul>	2,320	生涯学習課(図書館)
成果(取組)目標	子どもたちが読書に親しむ機会を持てるよう、年齢や背景に合わせた取組を実施する。			

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	具体的な取組等
子どもの読書量については、学力に直結してくる部分があると思う。子どもたちが1人1台のタブレットを持ち、便利な事をどんどんやっているが、「本」は「本」で非常に価値があると思うので、より強化していただければと思う。	引き続き、子どもにとって本との出会いがかけがえのないものであるということ、図書館のみならず学校・家庭とも思いを共有できるよう働きかけてまいります。
貸出冊数が減っていることがとても気になる。図書館や学校でも様々な取組をされているので、子どもたちにはもっとたくさんの本を読んでもらいたい。	貸出冊数の減少は様々な要因が考えられます。子どもを取り巻く環境や背景をふまえながら、図書館だけでなく学校や家庭においてそれぞれの立場で地道に子どもに本を手渡す活動が継続されるよう、工夫してまいります。
低学年までは親が関わり、本を読んでいるのではないかと思うが、子どもたちが小さい時に本を読んでもらった経験は、大きくなってからもポジティブな影響が、かなりあるのではないかと思っている。小学生になれば自分で本を読めるようになるが、保護者が本を読んであげることも大切なことなので、これからも本の読み聞かせを続けていっていただきたい。	今後も、幅広い年齢の子どもたちに、その成長に即した読書活動が継続されるよう、学校や家庭、地域ともつながりながら各事業を進めます
今はインターネットで本が読める環境があり、本を選ぶのは楽しいが、スタートでいきなり図書館で本を選ぶとなると、本から離れてしまう現実もあると思う。	本を選ぶ方法は子どもの環境によってさまざまですが、図書館に来て本を選ぶのに困ったときは、気軽に図書館司書に声をかけてもらえるよう働きかけます。また、気軽に手に取ったり選んだりする時の参考になるように本の見せ方や置き方を工夫してまいります。

教育大綱:基本目標	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	10 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	具体的な取組等
<p>中学校に勤務していた時に、読み聞かせボランティアの方に、子どもたちに非常に上手く読んでいただき、感動する場面が何度もあった。そういった活動がなくなる事がないようにしていただきたい。</p>	<p>引き続き、読書ボランティアの方々のサポートができるよう支援体制の整備と図書館司書の資質向上に努めます。</p>
<p>IT環境により、子どもたちが本そのものに触れる機会が非常に少なくなっている。中学生も自由に使える時間が少なく、部活動等があると本を借りにいけないこともあると思うが、しっかりと本を読むという習慣をつける事は必要な事だと思う。なかなか難しい事だと思うが、読書をする子どもたちが減ることがないよう、学校や家庭の協力も必要だと思うが、よろしくお願ひしたい。</p>	<p>読書離れが顕著な世代に対して、地道に読書に関心を持てる機会をつくれるよう、学校・地域・家庭と連携してまいります。</p>
<p>読書離れがかなり顕著であるが、おそらくITやAIなどの影響がかなりあるのではないかと思う。人間は必要な情報は得るが、そうでない情報は得ないというのが最近の傾向ではないかと感じるし、このような中で学校教育とのバランスが崩れてきているように思う。 学校と連携していかなければ、なかなか図書館単体で取り組まれるのは困難なのではないかと思うので、是非学校と連携して、こういった取組をしていただきたい。</p>	<p>子どもたちが必要な情報を様々な方法で得ることができるよう、またその情報から自分が知りたいことを選び読み解くことができるよう、学校や家庭と連携してまいります。</p>

教育大綱・基本目標	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	11 文化・芸術の創造と振興

■具体的な施策

(42) 文化芸術の鑑賞の充実と創作・発表・交流活動への支援		【文化スポーツ課】			
市民が文化芸術に興味や関心を持ち、心豊かな暮らしが実現できるよう、幅広い年齢層を対象に様々なジャンルの質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供します。また、多くの市民が創作や発表等、文化芸術活動を通して自己表現するとともに、お互いの交流を深め、多彩な地域文化を育むことができるよう支援を行います。					
現状と課題	年間を通じて様々な文化芸術事業を実施しているが、まだまだ関心が低く観客数や参加者が伸びない事業もある。市民の文化芸術への理解を高め、文化芸術を身近に感じることができる環境整備が求められる。また、文化芸術団体の中には高齢化や参加者の固定化が進み、後継者不足により活動の継続が危ぶまれる団体もある。市民と文化芸術をつなげる事業の推進と積極的な情報発信が必要である。				
重点的に取り組む視点	文化ホール等で様々な文化芸術の鑑賞事業を展開していくことと併せて、市内の小中学校・幼保こども園等にアーティストや長浜市文化芸術ユース会議などの文化芸術団体等が出張で訪問し、演劇や音楽公演、人形劇の鑑賞や、和楽器演奏体験、ダンスワークショップなどの様々な文化芸術メニューを届ける「アウトリーチ事業」を積極的に進め、市民が幼少時期から文化芸術に触れる・体験できる機会の充実を図り、理解や興味を深める。 また、市民自身が文化芸術を体験や披露できる機会を創出するために、市民参加型の舞台公演や音楽祭、美術展等を実施する。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
長浜市文化芸術ユース会議実施イベントの参加者数		812人	3,320人	900人	900人
自校主催の吹奏楽演奏会を開催している中学校の数		4校	4校	4校	5校
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	文化芸術活動振興事業	市民の文化芸術活動を支え、文化芸術事業を推進することにより、魅力ある地域として「市民の心の豊かさ」と「まちの活性化」につなげる。	市民が文化芸術に触れる機会を創出し、文化芸術により地域の活性化を図るため、様々な文化芸術事業の実施を委託する。文化芸術団体の運営および活動を補助する。	18,245	文化スポーツ課
成果(取組)目標		次代の文化を担う子どもや若者の感性や創造力を育むため、文化芸術に触れ、鑑賞や体験、発表できる機会を提供する。 ・アウトリーチ事業 45事業以上 ・次世代向け公演等の実施数 5事業以上 文化芸術活動の裾野を広げるため、多くの市民が文化芸術に親しめ、参加できる機会を提供する。 ・市民参加型文化芸術事業の実施数 5事業以上			
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	ユース芸術文化活動振興事業	若者たちが、主体的に文化芸術事業を企画・運営する中で、それらの活動を通じ、次代を担う子どもたちをはじめとする市民が気軽に文化芸術活動に触れることができる環境整備を図る。	40歳以下のアーティスト等が組織する長浜市文化芸術ユース会議に対し、子ども芸術体験(学校派遣)アウトリーチ事業や人材育成事業の委託、舞台芸術制作事業等への補助を行う。	1,336	文化スポーツ課
成果(取組)目標		子ども芸術体験(学校派遣)アウトリーチ事業や演劇ワークショップなどの人材育成事業、舞台芸術制作事業を積極的に実施し、若者たちが文化芸術に参加しやすい環境を整える。			

教育大綱・基本目標	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	11 文化・芸術の創造と振興

■具体的な施策

(43) 文化施設の活用と文化芸術団体との連携・協力		【文化スポーツ課】			
市民の主体的な文化芸術活動を通してまちの活性化をめざすため、文化芸術関係団体の連携・協力を進め、文化施設の有効な活用を図ります。					
現状と課題	市内の文化ホールを適正かつ有効に運営および管理していくため、指定管理者による運営管理を導入し、適切な施設管理と設備や地域特性に応じた文化事業が展開できるようにする。				
重点的に取り組む視点	長浜市民芸術文化創造協議会や長浜市文化芸術協会、長浜音楽協会、長浜文化芸術ユース会議など市内文化活動団体等と連携し、市民参加型の事業などを積極的に実施することで、文化施設の有効な活用と、文化芸術活動を通じた地域の活性化を図る。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
長浜市舞台芸術交流祭の参加団体数		8団体	8団体	8団体	9団体
長浜市芸術文化祭の参加事業数		54事業	事業廃止	事業廃止	60事業
長浜市民芸術文化創造協議会会員数		8団体	9団体	9団体	9団体
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	文化芸術活動振興事業	市民の文化芸術活動を支え、文化芸術事業を推進することにより、魅力ある地域として「市民の心の豊かさ」と「まちの活性化」につなげる。	市民が文化芸術に触れる機会を創出し、文化芸術により地域の活性化を図るため、様々な文化芸術事業の実施を委託する。文化芸術団体の運営および活動を補助する。	18,245	文化スポーツ課
成果(取組)目標		次代の文化を担う子どもや若者の感性や創造力を育むため、文化芸術に触れ、鑑賞や体験、発表できる機会を提供する。 ・アウトリーチ事業 45事業以上 ・次世代向け公演等の実施数 5事業以上 文化芸術活動の裾野を広げるため、多くの市民が文化芸術に親しめ、参加できる機会を提供する。 ・市民参加型文化芸術事業の実施数 5事業以上			
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	市民文化ホール管理運営事業	文化芸術の鑑賞や発表の場として、市内文化ホールを適切に管理運営する。	設備更新や修繕、文化事業の実施など、市内文化ホールを適切に管理運営し、市民の利用促進を図る。	77,089	文化スポーツ課
成果(取組)目標		市内6施設の文化ホールを適切かつ有効に管理運営する。 3施設(長浜文化芸術会館・浅井文化ホール・木之本スティックホール)については指定管理者による管理とし、それぞれに大型の文化芸術事業も委託する。(湖北文化ホールの指定管理委託は市民まちづくりセンター管理運営事業) 直営施設(びわ文化学習センター・虎姫文化ホール)についても、必要な舞台業務委託や設備点検、修繕等を実施する。			

教育大綱・基本目標	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	12 スポーツ活動の推進

■具体的な施策

(44)「する」スポーツの推進		【文化スポーツ課】			
生涯にわたりスポーツに親しめるようライフステージに応じたスポーツ活動を推進するとともに、競技スポーツ選手の育成支援、スポーツ環境の整備を進めます。					
現状と課題	コロナ禍があげ活動制限がなくなり、スポーツイベントにおいても制限(参加人数や地域の限定等)がなくなり、日程や内容等は従前の規模で開催しているが、参加者数は回復していない。				
重点的に取り組む視点	市内の他、市外からも多くの方が参加しスポーツに親しむだけでなく市の魅力を発信する機会となるよう、参加意欲が高まる魅力的な内容の計画とし広く周知を行っていく。				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
スポーツ施設利用者数(学校開放事業除く)		530,239人	576,000人	560,000人	560,000人
全国規模大会開催数		4件	3件	7件	15件
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	大規模スポーツイベントの実施	大規模なスポーツイベントを実施することで、生涯スポーツへの関心を高め、市民の健康増進を図る。	大規模スポーツイベントである「びわ湖長浜ツデーマーチ」、「長浜市あざいお市マラソン」を実施する。	16,685	文化スポーツ課
成果(取組)目標		地域特性を活かしたスポーツイベントの開催を通じて市民が楽しくスポーツに親しめる機会を提供する。 ・びわ湖長浜ツデーマーチ 1,800人 ・長浜市あざいお市マラソン 3,000人			
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	スポーツ施設維持管理修繕	安心安全な施設利用のため、施設の修繕を図る。	長浜市民庭球場の人工芝張替や長浜市民体育館の屋根改修工事を行う。	354,800	文化スポーツ課
成果(取組)目標		市内に33のスポーツ施設があり老朽化が進んでいる中、安全安心なスポーツ環境を提供するために優先順位を設定し順次整備を進める。			

教育大綱・基本目標	5 市民一人ひとりが学びあえる生涯学習環境の充実を図ります
施策の基本的方向	12 スポーツ活動の推進

■具体的な施策

(45) 「みる」スポーツの推進		【文化スポーツ課】			
令和7年に滋賀県で開催される予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会をスポーツ振興の絶好の機会としてとらえ、スポーツに対する関心を高め、子どもたちに夢や希望を与えられるよう大規模大会の誘致やトップアスリートと交流できる事業に取り組みます。					
現状と課題	2025わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大会の開催を控えているが、十分な機運の醸成ができていない。				
重点的に取り組む視点	大規模な大会の観覧(応援)やトップアスリートとの交流など、体験の機会を提供することによりスポーツへの関心をより一層高め、夢や希望を抱くことができるような事業を実施していく。				
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	ながはまスポーツ夢プロジェクト	子ども達が著名なアスリートや指導者と触れ合う機会を提供することで、スポーツに対する夢や希望を育む。	著名アスリートによる学校授業を行う「夢の教室」や、大学アメリカンフットボール部員が子ども達に指導を行う「フラッグフットボールチャレンジ」等の事業を実施する。	5,577	文化スポーツ課
成果(取組)目標		トップアスリートからの直接指導を受け、高い技術力を肌で感じる事が出来るよう事業を推進する。 ・ながはま夢プロジェクト 市内小学5年生 4クラス、市内中学2年生 4クラス ・フラッグフットボールチャレンジ 市内小学5年生 7クラス			
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
新規	国スポ・障スポ大会の推進	国スポ・障スポ大会及び関連大会を通じて、市民のスポーツへの関心を高め、活力あるまちづくりにつなげる。	2025わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大会及び2024リハーサル大会の円滑な運営	127,279	国スポ・障スポ大会推進室
成果(取組)目標		スポーツ大会を通じ、スポーツへの関心を高め、市民のスポーツ競技人口拡大を図る。			

■具体的な施策

(46) 「ささえる」スポーツの推進		【文化スポーツ課】			
国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の成功に向け組織体制の強化や指導者やボランティアの育成を図ります。また、地域スポーツを支える総合型地域スポーツクラブの活動やスポーツ活動に対する支援を行います。					
現状と課題	市内9地区の総合型地域スポーツクラブでは、スポーツ推進委員と協力しながら活動されており、国スポ・障スポ大会開催に向けて市民が一丸となった気運醸成のためスポーツの振興・普及を行う必要がある。				
重点的に取り組む視点	令和6年度に実施予定の各クラブの事業を令和7年3月末までに完了するとともに、市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を開催(年4回～)し情報交換等を行うことにより、充実したクラブ運営と地域間の連携強化を図る。				
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	各スポーツ団体への助成	スポーツ団体への助成を実施し、特に国スポ・障スポ大会の長浜市開催競技団体の組織強化を図る。	スポーツ協会やスポーツ少年団への助成を実施する。	4,469	文化スポーツ課
成果(取組)目標		市内スポーツ団体間の連携を図りながら、市民のニーズに応じたスポーツ活動の普及と環境づくりを推進する。 ・スポーツ少年団加入総数 2,000人以上 ・成人の週1回以上のスポーツ実施率 65.0%以上			
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	総合型地域スポーツクラブの育成・支援	クラブの育成・支援を行うことで、地域の実情に応じたきめ細やかなスポーツ活動を推進する。	総合型地域スポーツクラブへの運営助成や連絡協議会の開催を支援する。	2,080	文化スポーツ課
成果(取組)目標		子どもから高齢者まで幅広い世代でスポーツに親しみ、楽しめる地域スポーツの拠点づくりを推進する。 ・総合型地域スポーツクラブ 9団体 ・成人の週1回以上のスポーツ実施率 65.0%以上			

教育大綱・基本目標	6 安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します
施策の基本的方向	13 質の高い教育のための環境整備

■具体的な施策

(47) 誰もが安心して学べる学校・園施設等の整備		【教育総務課】			
<p>学校・園施設は、子どもたちが一日の大半を過ごす学習や生活の場です。安全・安心な教育環境を維持していくため、学校の適正配置を踏まえた上で施設の長寿命化改修を計画的に進めます。                  また、インクルーシブ教育の理念に基づき全ての子どもが地域で教育を受ける機会を整えるため、エレベーターの設置等、施設のバリアフリー化にも継続して取り組みます。</p>					
現状と課題	<p>市内の学校等の教育・保育施設の約4分の1は、建築後40年を経過しており、老朽化しているものが多くあります。このような状況において、子どもたちに安全・安心で、現在の生活様式や時代の求める環境に対応したより良い教育環境を、いかにして経費負担を押さえつつ継続的・安定的に提供していけるかが課題です。                  また、エレベーターの設置に関しては、今後の長寿命化改修の計画や学校の適正配置への取組みを踏まえ、合理的な手法を持って整備を進める必要があります。</p>				
重点的に取り組む視点	<p>学校等の施設は日常の適切な維持管理や適期の改修に加え、老朽度の高い施設については、適正規模や適正配置の動向を踏まえつつ、トータルコストの縮減や財政負担の平準化、構造体の改修による若返りと断熱化・省エネ化を合わせて実現するための長寿命化改修及び各種設備の整備を行います。</p>				
指 標(進捗管理目標)		計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
小学校・中学校・義務教育学校のエレベーター設置割合		小:52.2%	小: 52.2 %	小: 52.2 %	小:60.0%
		中:70.0%	中: 70.0 %	中: 70.0 %	中:100.0%
		義:100.0%	義: 100.0 %	義: 100.0 %	義:100.0%
		合計:60.0%	合計: 60.0 %	合計: 60.0 %	合計:74.0%
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	校舎(園舎)維持管理経費	全ての子どもが地域で教育を受ける機会を整えるため、施設のバリアフリー化等を進める。	各校園に設置したエレベーターが正常に動作するよう、保守点検業務を委託し、インクルーシブ教育の理念に則った教育環境の維持に努める。 また、湖北中学校北校舎の長寿命化改修工事の実施設計に併せ、エレベーターの設計も行う。 (実施設計に係る予算は学校施設等長寿命化改修事業内に計上)	14,204	教育総務課
成果(取組)目標		各校園のエレベーターの維持管理を行い、正常に動作する環境を維持するとともに、湖北中学校のエレベーターの実施設計を完了する。			
事業名または取組名		目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	学校施設等長寿命化改修事業	学校等の施設は日常の適切な維持管理や適期の改修に加え、老朽度の高い施設については、適正規模や適正配置の動向を踏まえつつ、トータルコストの縮減や財政負担の平準化、構造体の改修による若返りと断熱化・省エネ化を合わせて実現するための長寿命化改修を行う。	<b>【長寿命化改修工事】</b> ・浅井中学校(南校舎/S49築) ・神照小学校(北校舎/S49築) ・湖北中学校(南・中校舎/S50築) ・北中学校(東校舎/S50築)※ ・浅井小学校(本館/S52築)※ <b>【実施設計】</b> ・湖北中学校(北校舎/S51築) ・西中学校体育館(S63築)	1,646,650 ※債務負担行為 1,920,000	教育総務課
成果(取組)目標		校舎等の長寿命化や安全性・耐久性の向上に向け、学校や関係機関との連携を図りながら、改修工事等を実施、継続する。			

■事務評価委員会の所見に対する具体的な取組等

所見	具体的な取組等
建築資材等が非常に高騰する中で、計画通りに事業が進んでいるのかが心配である。また、材料が高くなると質が低いものに変更されたりする事もあるのではないかと懸念する。市も予算が厳しい中にあるとは思いますが、学校は子どもたちが、今後長く使用する施設となるため、極力良いものにしていただきたいので、よろしく願いたい。	老朽化した校園舎の増加だけでなく、建築資材の高騰等も含め、施設の改修に係る事業費の増大は避けられないのが現状です。 しかしながら、それに伴う事業実施の遅滞や施設の機能低下等が発生しないよう、より効率的な改修の方策を検討しながら、子どもたちの適正な教育環境の確保に努めます。

教育大綱・基本目標	6 安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します
施策の基本的方向	13 質の高い教育のための環境整備

■具体的な施策

(48) 就学援助による経済的支援		【すこやか教育推進課】		
<p>経済的な理由により就学が困難な子どもに対して就学援助による経済的支援を行い、社会のセーフティネットとしての役割を担うとともに、子どもが安心して学習に取り組める環境づくりを推進します。</p>				
現状と課題	申請手続きが紙ベースで、審査事務もかなりの時間を要している。また、通知等についても同様である。			
重点的に取り組む視点	今後予定されているシステム標準化の動きに合わせ、申請手続きのより良い電子化を検討していく。			
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 要保護準要保護児童生徒援助事業	経済的理由によって就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して必要な援助を行うことにより義務教育の円滑な実施に資する。	対象となる児童・生徒の学用品費、学校給食費、修学旅行費(校外活動費)、新入学児童・生徒用学用品費等(入学前応援金)の一部を援助する。	87,710	すこやか教育推進課
成果(取組)目標	義務教育の機会均等と円滑な実施を実現する。			
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 特別支援教育就学奨励事業	小・中・義務教育学校の特別支援学級に在籍している児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減するため必要な援助を行う。	対象となる児童・生徒の学用品費、学校給食費、修学旅行費(校外活動費)、新入学児童・生徒の学用品費等の一部を援助する。	7,441	すこやか教育推進課
成果(取組)目標	義務教育の機会均等と特別支援教育の普及奨励及び振興を実現する。			

(49) 教職員研修の充実		【教育センター】		
<p>学校・園のニーズや今日的な課題を踏まえ、就学前教育から中学校教育までの連続的な学びに対応する研修体制を整えるとともに、各現場での主体的な研修を推進・支援していきます。また、それぞれの経験に応じた指導力や教育課題解決力を向上させる実践的な研修を推進し、保育力、授業力、指導力、マネジメント能力等、今求められている「教師力」を向上させる研修の充実に努めます。</p>				
現状と課題	研修等に参加した教職員の人数は、増加傾向にある。多様な学びを提供すべく、集合研修やオンライン研修、オンデマンド研修、アウトリーチ研修、ハイブリッド研修などを実施してきた。今後は、より今日的なニーズに沿った研修を提供し、教職員の資質向上や学校組織の改善に取り組むことが求められる。			
重点的に取り組む視点	学校現場での主体的な研修を推進・支援していく。また、授業力、指導力、マネジメント能力等、今求められている「教師力」を向上させる研修の充実を目指す。			
指 標(進捗管理目標)	計画策定時	R5年度 実績見込み	R6年度 目標値	R7年度 計画目標値
自主啓発研修・研究発表会等に、主体的に参加した教職員の人数	延べ773人	延べ1,683人	延べ1,739人	延べ966人
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続 教職員研修事業	今日的な教育的課題解決や、学習指導要領の趣旨を実現するために、必要な教職員としての資質・指導力の向上を目指す。	「授業改善」「授業に関する研修」「その他(人権、生徒指導、専門的分野など)」など、資質指導力の向上とともにマネジメント能力を育成する研修の場を提供する。	975	教育センター
成果(取組)目標	質の高い教育の実現のために、充実した研修を提供し、教職員の資質・向上を目指す。			



教育大綱・基本目標	6 安全・安心で質の高い教育を支える環境を整備します
施策の基本的方向	13 質の高い教育のための環境整備

■具体的な施策

(50) 教職員の働き方改革の推進		【教育指導課】		
<p>学校や園での教育は、教職員と子どもたちが人格的なふれあいを通じて行われるものであることから、教職員が心身の健康を保ち、ゆとりをもって子どもと向きあうことができるよう、業務量の適切な管理と教育職員の健康及び福祉の確保を図るための措置を行うよう努めます。</p>				
現状と課題	DXの推進により業務改善を図っているが、特に年度初めや学期末に書類の作成や成績処理等の業務が集中するため、多くの時間を要する。また、関係機関や保護者との連絡・調整に多くの時間を費やすため、煩雑な業務の精査を行う必要がある。併せて、教職員一人ひとりのタイムマネジメント力をつける必要がある。			
重点的に取り組む視点	「学校における働き方改革」ロードマップを作成し、計画に基づき、具体的な施策を行う。(授業時数の適正化、業務のデジタル化、積極的な人的配置、職員の意識改革を図る研修会の実施等)			
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	教職員のワークライフバランスの取組の推進	「学校における働き方改革」ロードマップに基づき業務改善に取り組み、教職員の「ウェルビーイング」の向上を図る。	0	教育指導課
成果(取組)目標	教職員の1か月の超過勤務が、45時間以上の割合を前年比-3%になることを目指す。			

(51) 学校適正配置の協議・取組の推進		【教育改革推進室】		
<p>子どものための教育の質的充実、教育の機会均等及び水準確保における学校間格差の是正に向けて、外部関係者等を加えた学校適正配置検討会議等を設置して、保護者や地域等の意向を十分に踏まえながら、小中一貫教育校の導入を視野に入れた学校の適正配置の取組の検討を推進します。</p>				
現状と課題	児童生徒数の減少に伴い学校の小規模化が進み、学校間で教育の質や水準に格差が生じる可能性がある。			
重点的に取り組む視点	学校適正規模・適正配置に係る基本的な考え方、小中一貫教育基本方針に基づき、対象地域で引き続き意見交換を行っていく。また、すでに開校した学校については必要な検証や支援を実施する。市全体の学校園適正規模・適正配置について中長期的な視野を持ち、検討する委員会を開催し、学識経験者や学校関係者等から幅広い意見を収集し、今後の基本的方針の作成に活かす。			
指 標(進捗管理目標)	計画策定時	R5年度実績見込み	R6年度目標値	R7年度計画目標値
本市において適正に配置されていると考える学校の割合	82.9%	82.9%	82.9%	85%
小中一貫教育により「学習指導」、「生徒指導」、「教職員の意識改革」に効果が認められたと回答した教職員の割合	70.8%	87.1%	88.0%	前年度比+0.5%
事業名または取組名	目的	概要	予算(千円)	担当課
継続	学校適正配置・小中一貫教育推進事業	教育の質的充実、教育の機会均等及び水準確保における学校間格差の是正を図る。	496	教育改革推進室
成果(取組)目標	子どもたちにとってよりよい教育環境づくり、魅力ある将来の学校づくりの視点から、学校の適正規模・適正配置及び小中一貫教育の推進を図る。			



長浜市教育委員会 X（旧 Twitter）ページで教育関係情報を発信しています。  
右のQRコードからご覧いただけます。

